

ニセコエリア誘客に向けた二次交通整備事業に係る利用調査 北海道新幹線利用者アンケート結果（冬季）

平成29年3月

倶知安町

（受託者：株式会社 日本旅行北海道）

ニセコエリア誘客に向けた二次交通整備事業に係る利用調査

◎調査内容 新幹線キップとニセコエリア(倶知安町・ニセコ町・蘭越町)にある宿泊施設がセットになった旅行商品購入者に対して、北海道旅行に関するアンケート調査を実施する

◎調査方法 ①新幹線キップとニセコエリア(倶知安町・ニセコ町・蘭越町)にある宿泊施設がセットになった旅行商品購入者に対して実施する

②ニセコエリアにある当社の契約宿泊施設に宿泊する者で、北海道新幹線を利用してニセコエリアに来訪した者に対して実施する

◎調査期間 平成28年12月25日から平成29年1月24日まで

◎調査施設

湯元ニセコプリンスホテルひらふ亭(倶知安町)

ホテルニセコアルペン(倶知安町)

ナチュラルリゾートワイズホテル(倶知安町)

いこいの湯宿 いろは(ニセコ町)

ザ・グリーンリーフ・ニセコビレッジ(ニセコ町)

ニセコグランドホテル(ニセコ町)

ニセコ昆布温泉 ホテル甘露の森(ニセコ町)

ニセコ昆布温泉 鶴雅別荘 奎の抄(ニセコ町)

◎調査総数 150人

北海道新幹線に乗ってニセコに行こう！旅行商品対象施設アンケート数

【夏季】

旅行商品対象宿泊施設	アンケート数
湯元ニセコプリンスホテルひらふ亭	0
ナチュラルリゾートニセコワイズホテル	8
ヒルトンニセコビレッジ	3
ニセコノーザンリゾート・アンヌプリ	0
ニセコ昆布温泉 ホテル甘露の森	0
	11

【冬季】

旅行商品対象宿泊施設	アンケート数
湯元ニセコプリンスホテルひらふ亭	0
ナチュラルリゾートニセコワイズホテル	0
ヒルトンニセコビレッジ	0
ニセコノーザンリゾート・アンヌプリ	0
ニセコ昆布温泉 ホテル甘露の森	0
	0

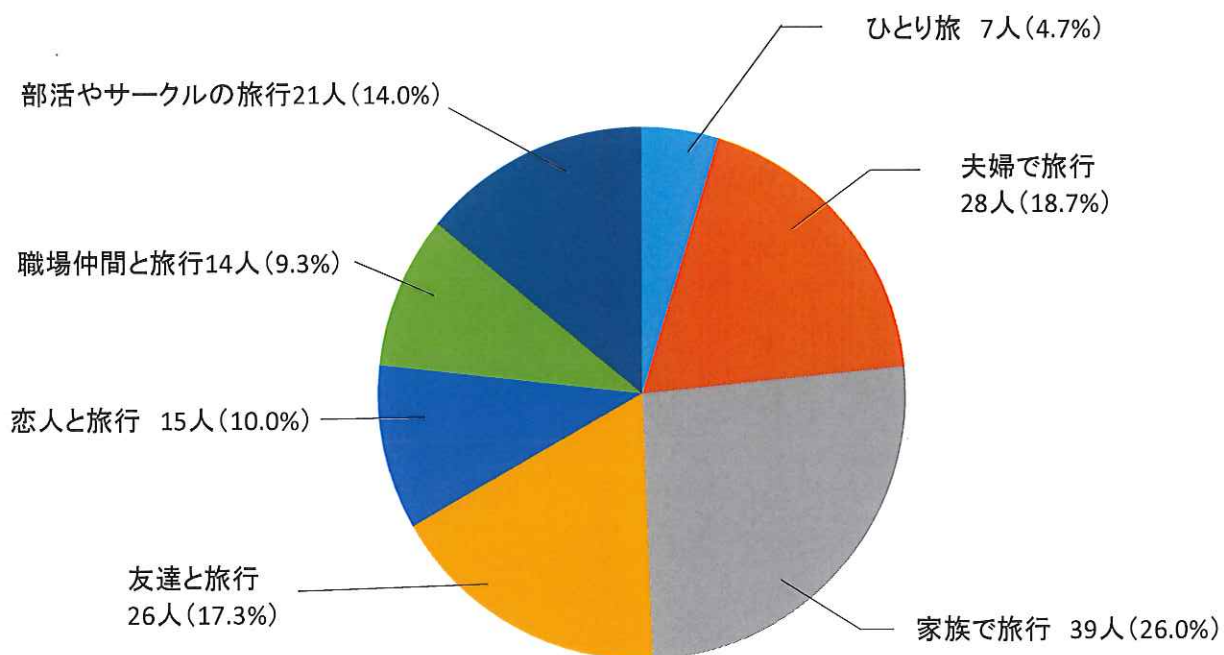
※当初、15件の販売があったが12月22日～12月23日の悪天候によってキャンセルとなった

1 今回のご旅行の形態は？

- ① ひとり旅 ② 夫婦で旅行 ③ 家族で旅行
 ④ 友達と旅行 ⑤ 恋人と旅行 ⑥ 職場仲間と旅行
 ⑦ 部活やサークルの旅行 ⑧ その他()

【集計結果】

①	ひとり旅	7
②	夫婦で旅行	28
③	家族で旅行	39
④	友達と旅行	26
⑤	恋人と旅行	15
⑥	職場仲間と旅行	14
⑦	部活やサークルの旅行	21
⑧	その他	0
		150



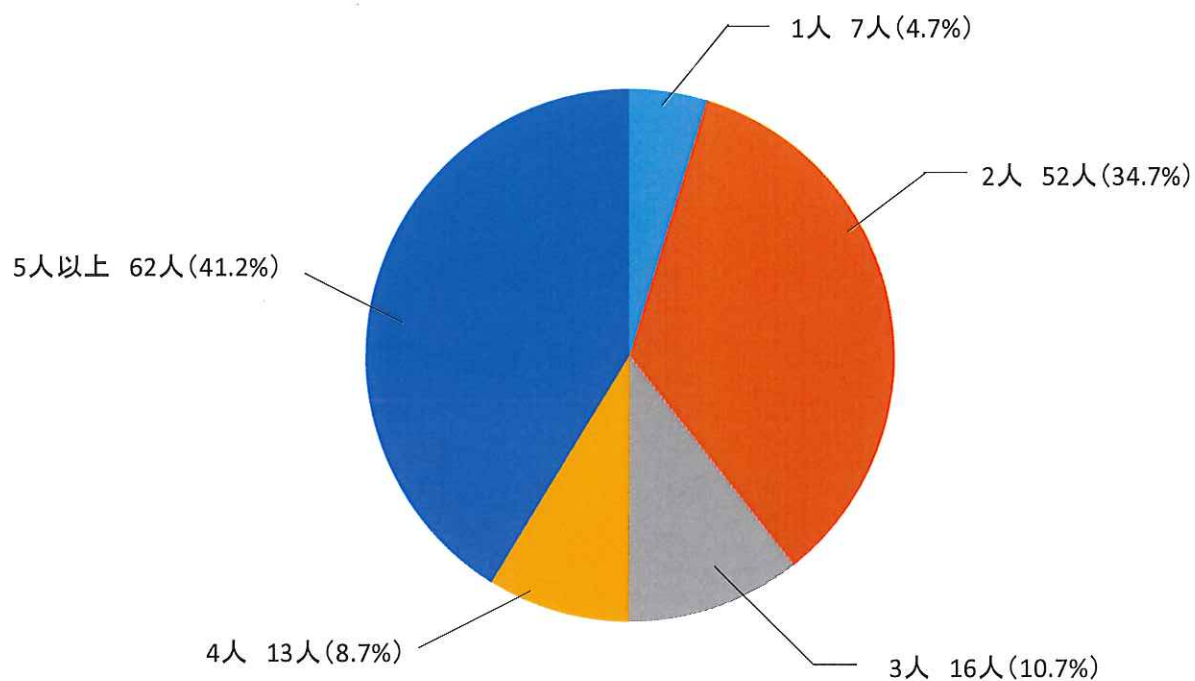
○夏季で50%を超えていた「家族で旅行」が減少し、「友達と旅行」「職場仲間と旅行」「部活やサークルの旅行」が増加している。冬季は、スキーや温泉を目的として夏季とは違う旅行形態が増加したものと考えられる。夫婦や家族と比較して、「恋人と旅行」を含めると血縁関係以外の旅行形態が50%を超えている

2 何人のご旅行ですか？

- ① 1人 ② 2人 ③ 3人 ④ 4人 ⑤ 5人以上

【集計結果】

①	1人	7
②	2人	52
③	3人	16
④	4人	13
⑤	5人以上	62
		150



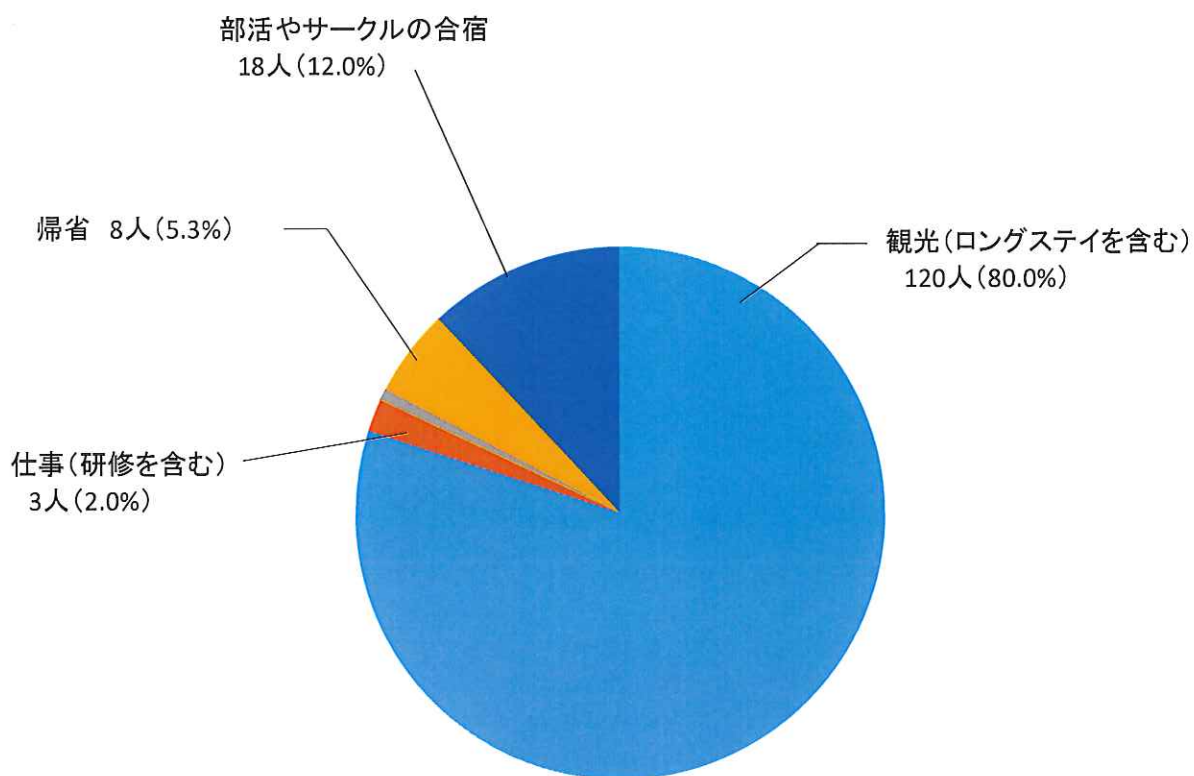
○旅行形態の結果の通り、「友達と旅行」「職場仲間と旅行」「部活やサークルの旅行」とグループでの旅行が多くなっていることから必然的に5人以上での旅行が最も多くなっている

3 今回のご旅行の主な目的は？

- ① 観光(ロングステイを含む) ② 仕事(研修を含む) ③ 冠婚葬祭(法要を含む)
④ 帰省 ⑤ 部活やサークルの合宿 ⑥ その他()

【集計結果】

①	観光(ロングステイを含む)	120
②	仕事(研修を含む)	3
③	冠婚葬祭(法要を含む)	1
④	帰省	8
⑤	部活やサークルの合宿	18
⑥	その他	0
		150



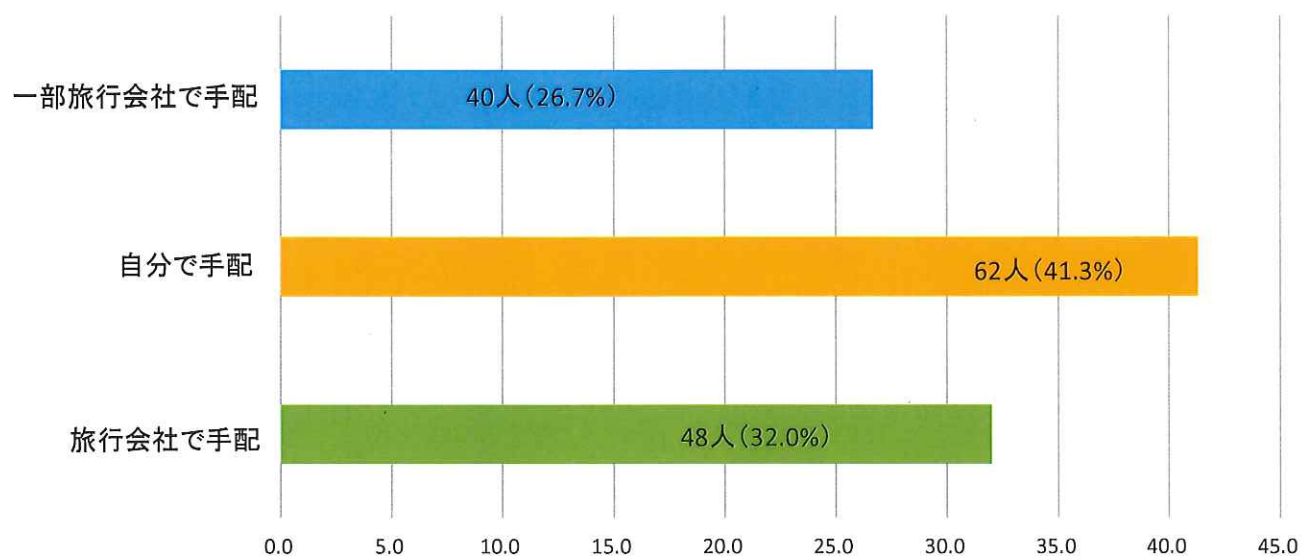
○夏季同様、旅行目的では「観光(ロングステイを含む)」が8割を超えている。アンケートでは、その他で「スキー」と回答している人が数名いたが、今回、スキーについては「観光」として取り扱うこととし、観光で集計している

4 今回のご旅行の手配はどのようにしましたか？

- ① 旅行会社で手配してもらった(旅行会社のHPによるインターネット予約・購入を含む)
- ② 全て自分で手配した(旅行会社のHP以外によるインターネット予約・購入を含む)
- ③ 一部自分で手配した(例:飛行機チケットは自分で予約、ホテルは旅行会社で予約)

【集計結果】

①	旅行会社で手配してもらった(旅行会社のHPによるインターネット予約・購入を含む)	48
②	全て自分で手配した(旅行会社のHP以外によるインターネット予約・購入を含む)	62
③	一部自分で手配した(例:飛行機チケットは自分で予約、ホテルは旅行会社で予約)	40
		150



○インターネットの普及により、旅行の手配は「全て自分で手配した」が全体の4割以上を占める一方、「旅行会社で手配してもらった」が48人32.0%ある。特に冬季については、各宿泊施設とリフト券がセットになった旅行商品が発売になることや空港からダイレクトにニセコエリアに入るツアーバスがあることから、旅行会社に手配を依頼することが多くなると推測される

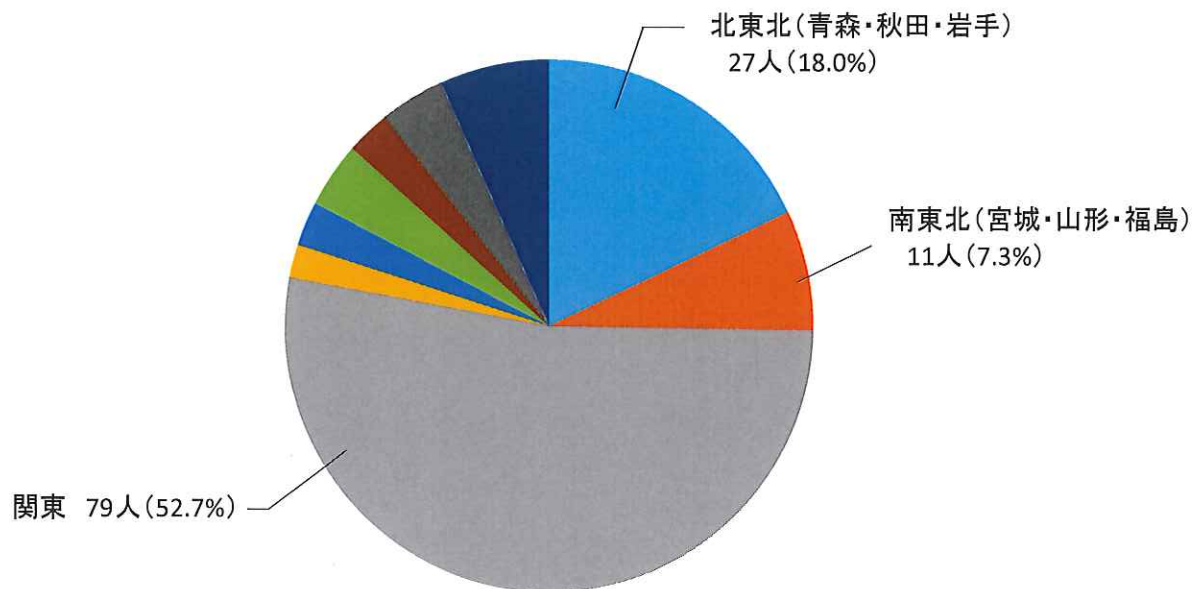
5 今回のご旅行の出発地はどちらですか？

- ① 北東北(青森県・秋田県・岩手県) ② 南東北(宮城県・山形県・福島県)
 ③ 関東 ④ 中部 ⑤ 北陸 ⑥ 近畿 ⑦ 四国
 ⑧ 中国 ⑨ 九州 ⑩ 沖縄 ⑪ 国外()

【集計結果】

①	北東北(青森県・秋田県・岩手県)	27
②	南東北(宮城県・山形県・福島県)	11
③	関東	79
④	中部	3
⑤	北陸	4
⑥	近畿	6
⑦	四国	0
⑧	中国	4
⑨	九州	6
⑩	沖縄	0
⑪	国外	10
		150

国外	中国	10
----	----	----



○旅行者の出発地としては「関東」が一番多く、全体の5割以上を占めている

○夏季は約20%だった東北地方からの来訪者が、冬季では25.3%となった。わずかに増えてはいるが、今シーズン序盤の本州スキー場の雪不足を考えると、もっと伸びると考えていたが、期待していた程の増加は見られなかった。今後も東北地方へのプロモーションは重要と考える

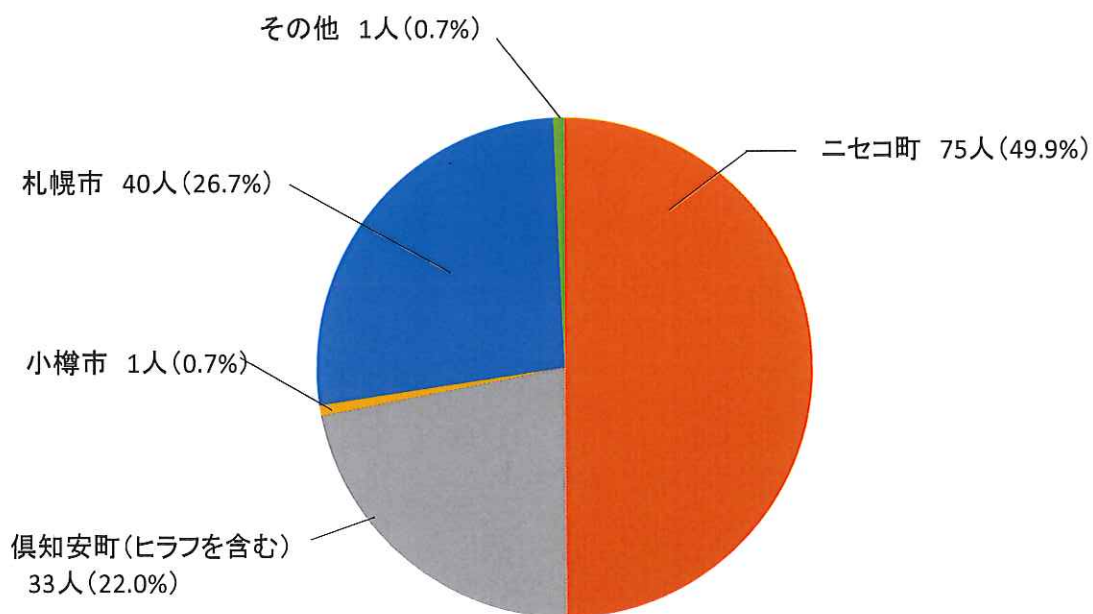
6 今回のご旅行の最終目的地はどちらですか？

- ① 蘭越町 ② ニセコ町 ③ 倶知安町（ヒラフを含む） ④ 小樽市
⑤ 札幌市 ⑥ その他（ ）

【集計結果】

①	蘭越町	0
②	ニセコ町	75
③	倶知安町(ヒラフを含む)	33
④	小樽市	1
⑤	札幌市	40
⑥	その他	1
		150

その他	釧路市	1
-----	-----	---



○最終目的地がニセコ町・倶知安町で全体の7割を占めている

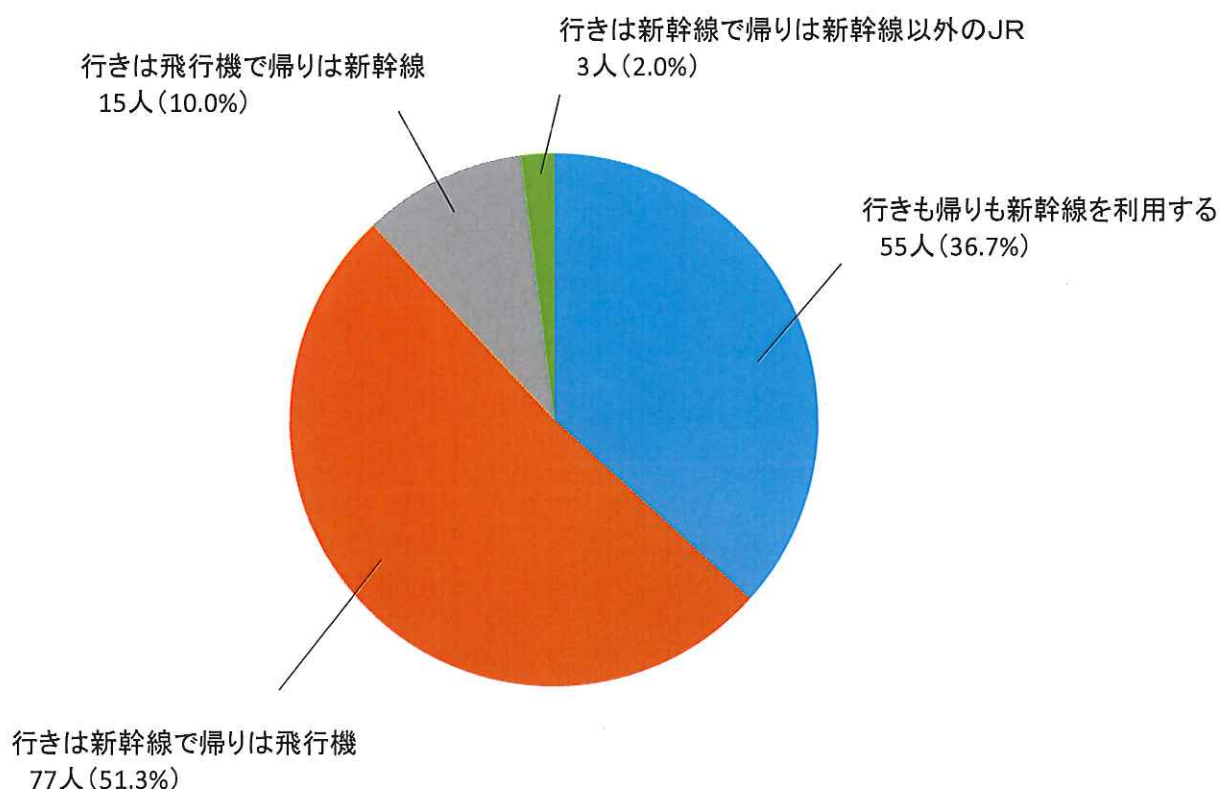
○冬季の場合は、スキーや温泉などを旅行目的にしている旅行者が多いものと思われ、また、冬道運転を避けるためレンタカーの利用者が減っているため、夏季のような道内各観光地を回る周遊型観光にはならず、ニセコエリアが旅行の最終目的地になっていると考えられる

7 今回のご旅行の移動方法についてお答えください

- | | |
|------------------|----------------------|
| ① 行きも帰りも新幹線を利用する | ② 行きは新幹線で帰りは飛行機 |
| ③ 行きは飛行機で帰りは新幹線 | ④ 行きは新幹線で帰りはフェリー |
| ⑤ 行きはフェリーで帰りは新幹線 | ⑥ 行きは新幹線で帰りは新幹線以外のJR |

【集計結果】

①	行きも帰りの新幹線を利用する	55
②	行きは新幹線で帰りは飛行機	77
③	行きは飛行機で帰りは新幹線	15
④	行きは新幹線で帰りはフェリー	0
⑤	行きはフェリーで帰りは新幹線	0
⑥	行きは新幹線で帰りは新幹線以外のJR	3
		150



- 今回の調査では、フェリーなど利用がなく移動方法での多様性は見られなかった
- 行きと帰りのどちらかで新幹線を利用する場合は、行きに新幹線を利用する者が多く、これは、夏季の新幹線利用者も同様の結果であった
- 今回のアンケートに回答した外国人観光客のほとんどが、帰りで新幹線を利用している

飛行機と新幹線を利用した旅行者の最終目的地

●行きは新幹線で帰りは飛行機を利用した旅行者の最終目的地

【集計結果】

①	蘭越町	0
②	ニセコ町	41
③	倶知安町(ヒラフを含む)	6
④	小樽市	0
⑤	札幌市	29
⑥	その他	1
		77

その他	釧路市	1
-----	-----	---

●行きは飛行機で帰りは新幹線を利用した旅行者の最終目的地

①	蘭越町	0
②	ニセコ町	4
③	倶知安町(ヒラフを含む)	7
④	小樽市	0
⑤	札幌市	4
⑥	その他	0
		15

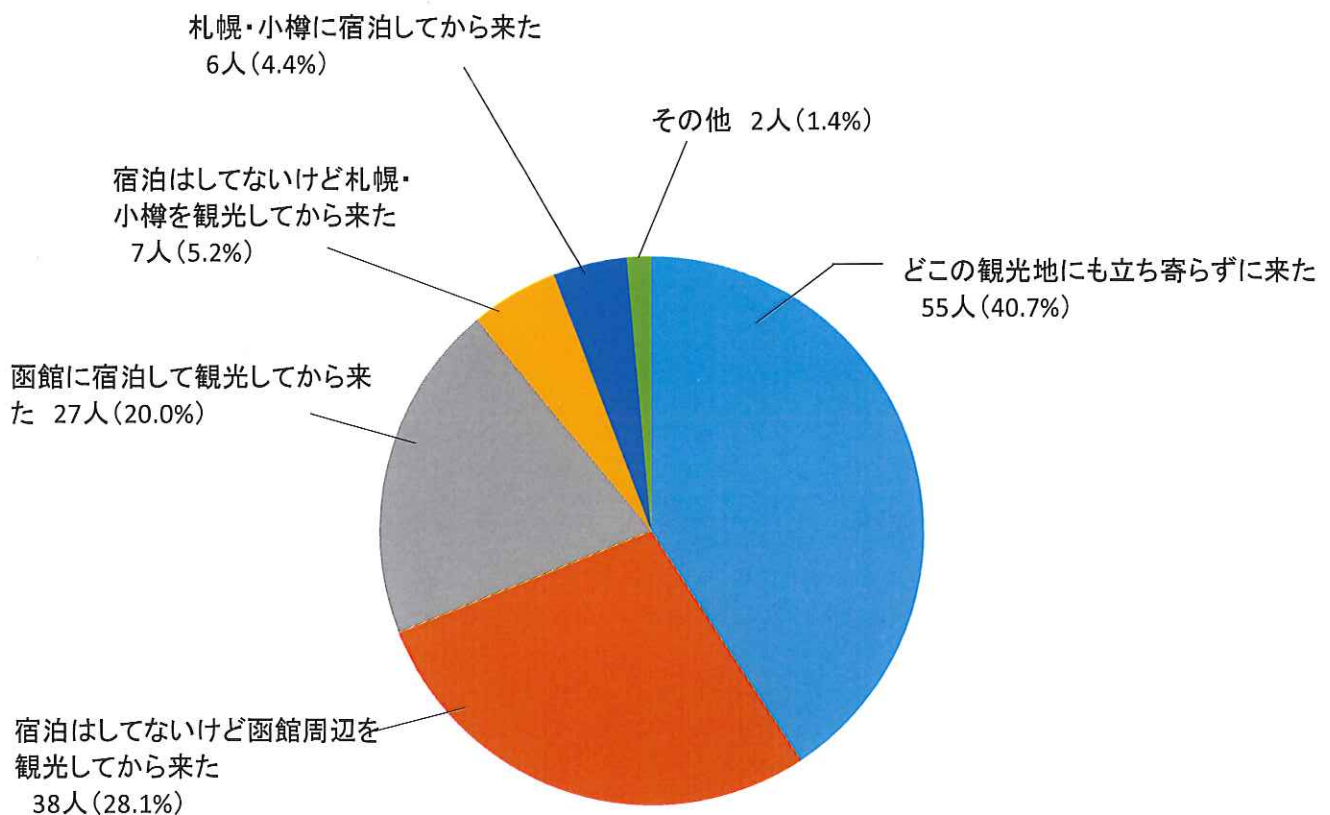
8 今回のご旅行で、新函館北斗駅からニセコまでの移動経路は？

- ① どの観光地にも立ち寄らずに来た ② 宿泊はしていないけど函館周辺を観光してから来た
 ③ 函館に宿泊して観光してから来た ④ 宿泊はしていないけど札幌・小樽を観光してから来た
 ⑤ 札幌・小樽に宿泊してから来た ⑥ その他()

【集計結果】

①	どの観光地にも立ち寄らずに来た	55
②	宿泊はしていないけど函館周辺を観光してから来た	38
③	函館に宿泊して観光してから来た	27
④	宿泊はしていないけど札幌・小樽を観光してから来た	7
⑤	札幌・小樽に宿泊してから来た	6
⑥	その他	2
		135

その他	長万部町	2
-----	------	---



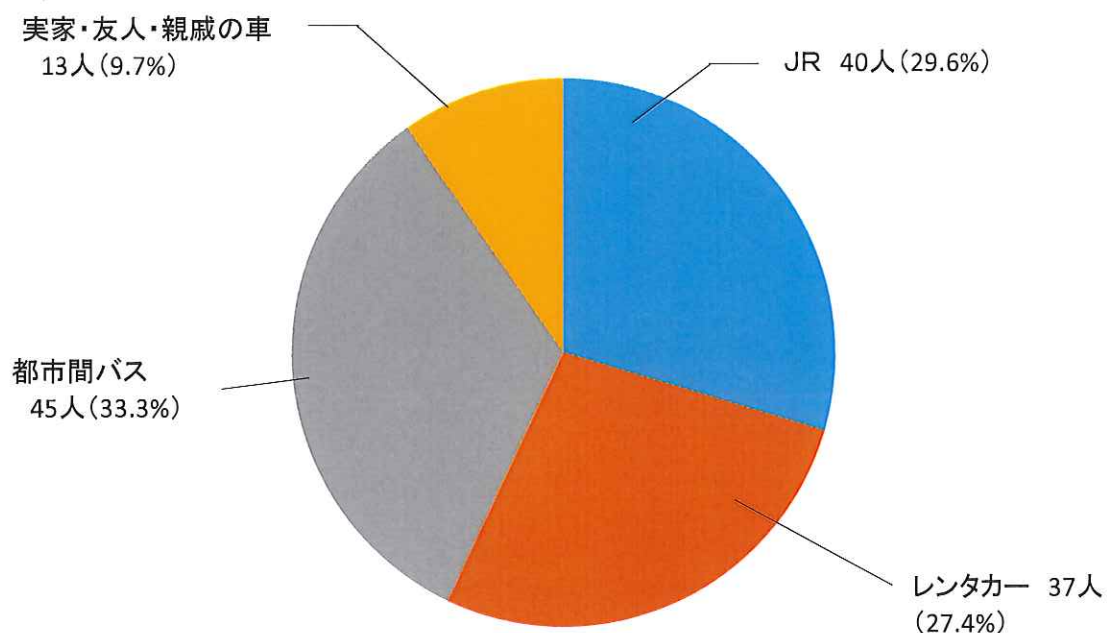
○行きで新幹線を利用した観光客が、函館に宿泊または宿泊をせずに観光してからニセコに来た割合は、合わせて48.1%となっており、夏季の57.3%からは減少している。これは、冬季においてはスキーという旅行目的がはっきりしている人が多いためと考えられる

9 今回のご旅行で、新函館北斗駅(または函館市)からニセコまでの移動は？

- ① JR ② レンタカー ③ 都市間バス ④ 実家・友人・親戚の車
⑤ 複数の交通手段を使って

【集計結果】

①	JR	40
②	レンタカー	37
③	都市間バス	45
④	実家・友人・親戚の車	13
⑤	複数の交通手段を使って	0
		135



○行きで新幹線を利用した旅行者の、新函館北斗駅(または函館市)からニセコまでの移動手段では、「JR」と「都市間バス」の利用が62.9%となった。一方で、夏季に66.5%あったレンタカーの利用者は、27.4%まで減少している

○JRを利用した者のアンケートのなかで、JRの運行時間の関係から長万部町に1泊してからニセコ入りした人から、JRの利便性向上の要望が記されていた

新幹線利用者の旅行形態別 新函館北斗駅から二セコまでの移動経路

【集計結果】

	旅行形態	どこの観光地にも 立ち寄らずに来た	宿泊はしないで ど函館周辺を 観光してから来た	函館に宿泊して 観光してから来た	宿泊はしないで ど札幌・小樽を 観光してから来た	札幌・小樽に 宿泊してから来た	その他
①	ひとり旅	2	1	3	0	1	0
②	夫婦で旅行	12	6	4	0	0	2
③	家族で旅行	14	4	9	4	5	0
④	友達と旅行	14	1	6	3	0	0
⑤	恋人と旅行	0	4	5	0	0	0
⑥	職場仲間と旅行	8	6	0	0	0	0
⑦	部活やサークルの旅行	5	16	0	0	0	0
⑧	その他	0	0	0	0	0	0
		55	38	27	7	6	2

新幹線利用者の性別・年齢別 新函館北斗駅から二セコまでの移動経路【男性】

【集計結果】

年齢別	どこの観光地にも 立ち寄らずに来た	宿泊はしていない ど函館周辺を 観光してから来た	函館に宿泊して 観光してから来た	宿泊はしていない ど札幌・小樽を 観光してから来た	札幌・小樽に 宿泊してから来た	その他
① 0歳 ～ 9歳	0	1	1	0	0	0
② 10歳 ～ 19歳	0	0	1	0	2	0
③ 20歳 ～ 29歳	3	3	0	0	0	0
④ 30歳 ～ 39歳	4	3	9	1	0	0
⑤ 40歳 ～ 49歳	5	2	2	0	0	0
⑥ 50歳 ～ 59歳	3	2	1	0	1	1
⑦ 60歳 ～ 69歳	6	1	2	1	0	0
⑧ 70歳 ～	6	0	0	0	0	0
	27	12	16	2	3	1

新幹線利用者の性別・年齢別 新函館北斗駅から二セコまでの移動経路【女性】

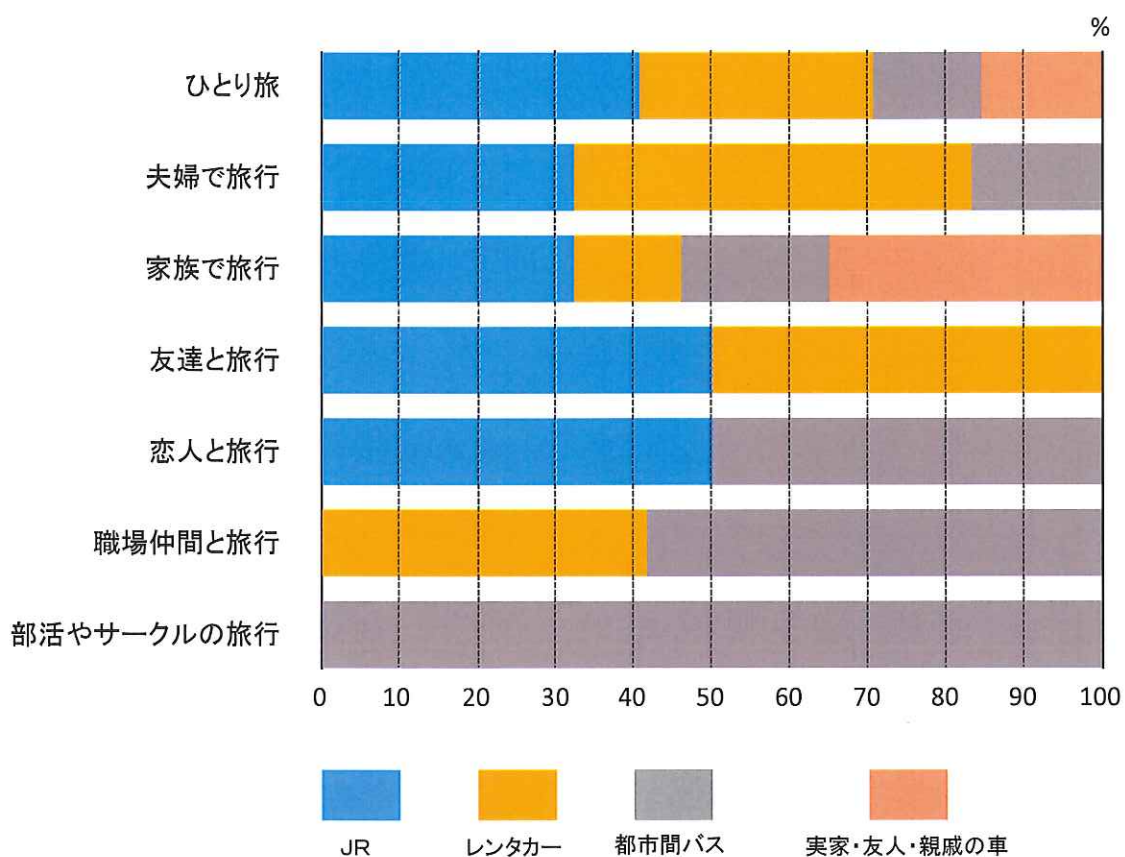
【集計結果】

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧	年齢別	どこの観光地にも 立ち寄らずに来た	宿泊はしないけ ど函館周辺を 観光してから来た	函館に宿泊して 観光してから来た	宿泊はしないけ ど札幌・小樽を 観光してから来た	札幌・小樽に 宿泊してから来た	その他
①	0歳～9歳	2	0	0	0	0	0
②	10歳～19歳	0	0	0	0	0	0
③	20歳～29歳	4	10	3	3	2	0
④	30歳～39歳	3	2	3	1	0	0
⑤	40歳～49歳	3	7	3	0	0	1
⑥	50歳～59歳	2	6	1	0	1	0
⑦	60歳～69歳	7	1	1	1	0	0
⑧	70歳～	7	0	0	0	0	0
		28	26	11	5	3	1

新幹線利用者の旅行形態別 新函館北斗駅からニセコまでの移動手段

【集計結果】

旅行形態		JR	レンタカー	都市間バス	実家等の車	計
①	ひとり旅	3	2	1	1	7
②	夫婦で旅行	8	12	4	0	24
③	家族で旅行	12	5	7	12	36
④	友達と旅行	12	12	0	0	24
⑤	恋人と旅行	5	0	4	0	9
⑥	職場仲間と旅行	0	6	8	0	14
⑦	部活やサークルの旅行	0	0	21	0	21
⑧	その他	0	0	0	0	0
		40	37	45	13	135



新幹線利用者の性別・年齢別 新函館北斗駅からニセコまでの移動手段 【男性】

【集計結果】

年齢別		JR	レンタカー	都市間バス	実家等の車	計
①	0歳 ～ 9歳	0	1	1	0	2
②	10歳 ～ 19歳	3	0	0	0	3
③	20歳 ～ 29歳	1	3	1	1	6
④	30歳 ～ 39歳	7	5	3	2	17
⑤	40歳 ～ 49歳	2	4	2	1	9
⑥	50歳 ～ 59歳	2	6	0	0	8
⑦	60歳 ～ 69歳	3	2	3	2	10
⑧	70歳 ～	0	1	4	1	6
		18	22	14	7	61

○移動手段全体では利用率が低かったレンタカーではあるが、男性に限っては他の移動手段を上回る利用率になっている

○60歳以上から、JRと都市間バスの利用率がレンタカーの利用率を上回る

○全体的には、レンタカーの利用率が下がり、冬道運転への不安から公共交通の利用が増えている

新幹線利用者の性別・年齢別 新函館北斗駅からニセコまでの移動手段 【女性】

【集計結果】

	年齢別	JR	レンタカー	都市間バス	実家等の車	計
①	0歳 ～ 9歳	2	0	0	0	2
②	10歳 ～ 19歳	0	0	0	0	0
③	20歳 ～ 29歳	9	6	7	0	22
④	30歳 ～ 39歳	2	2	3	2	9
⑤	40歳 ～ 49歳	5	1	7	1	14
⑥	50歳 ～ 59歳	2	4	4	0	10
⑦	60歳 ～ 69歳	2	2	4	2	10
⑧	70歳 ～	0	0	6	1	7
		22	15	31	6	74

○女性の71.6%が公共交通機関を利用している

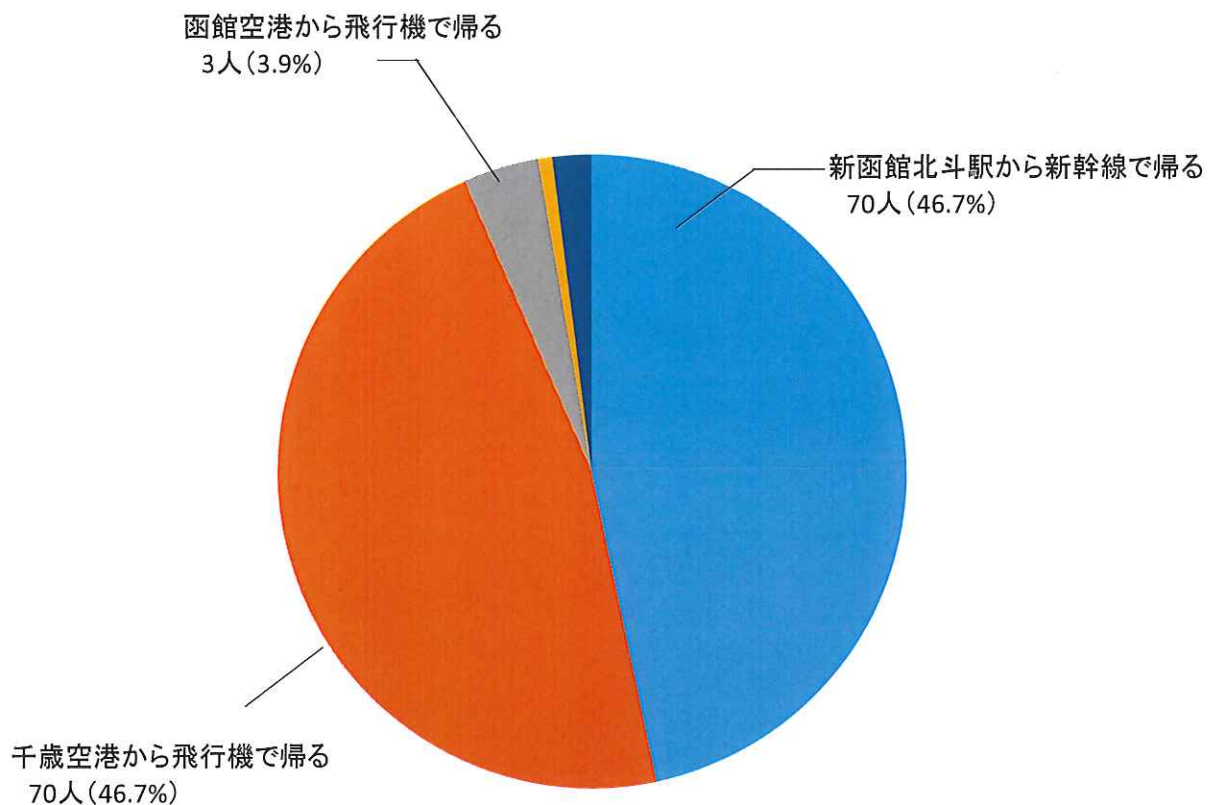
○夏季では、年齢を問わず「レンタカー」の利用率が高かった。女性の場合、自分では運転せず同乗する
場合が多いと推測されるため、「レンタカー」の利用率が必然的に高くなっていたと考えられるが、今回
は、職場や友人など家族旅行よりグループ旅行が多かったため、女性だけの移動が多いと推測され、
そのことで、男性のレンタカー利用率に相反して、女性のレンタカー利用率は低くなっている

10 北海道から、どのように帰りますか？

- | | |
|-------------------|------------------|
| ① 新函館北斗駅から新幹線で帰る | ② 新千歳空港から飛行機で帰る |
| ③ 函館空港から飛行機で帰る | ④ その他の空港から飛行機で帰る |
| ⑤ 函館からフェリーで帰る | ⑥ 苫小牧からフェリーで帰る |
| ⑦ 新幹線以外のJRを利用して帰る | |

【集計結果】

①	新函館北斗駅から新幹線で帰る	70
②	新千歳空港から飛行機で帰る	70
③	函館空港から飛行機で帰る	6
④	その他の空港から飛行機で帰る	1
⑤	函館からフェリーで帰る	0
⑥	苫小牧からフェリーで帰る	0
⑦	新幹線以外のJRを利用して帰る	3
		150



○北海道からの帰りの交通手段で「新幹線を利用する」旅行者と新千歳空港から飛行機を利用する旅行者は同数の150人中70人で、46.7%になっている

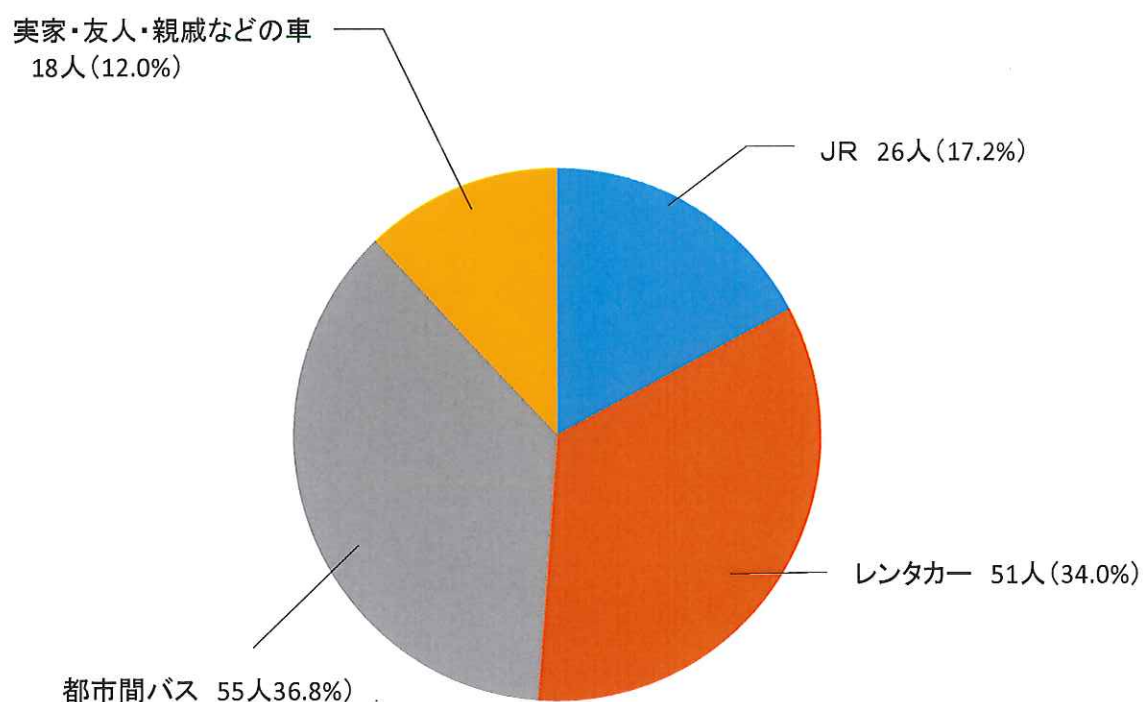
○行き同様、帰りにおいても新幹線に対して飛行機が交通手段の競合相手となっている

11 ニセコから北海道を離れる空港、駅、フェリー乗り場までの移動手段は？

- ① JR ② レンタカー ③ 都市間バス
④ 実家・友人・親戚などの車 ⑤ 複数の交通手段を使って

【集計結果】

①	JR	26
②	レンタカー	51
③	都市間バス	55
④	実家・友人・親戚などの車	18
⑤	複数の交通手段を使って	0
		150



○冬季では、ニセコエリアの各スキー場から新千歳空港まで都市間バスが運行していることとニセコエリア(倶知安・ニセコ・蘭越)から新函館北斗駅・函館駅まで都市間バスが運行していることから、夏季と比較して都市間バスの利用が増えている

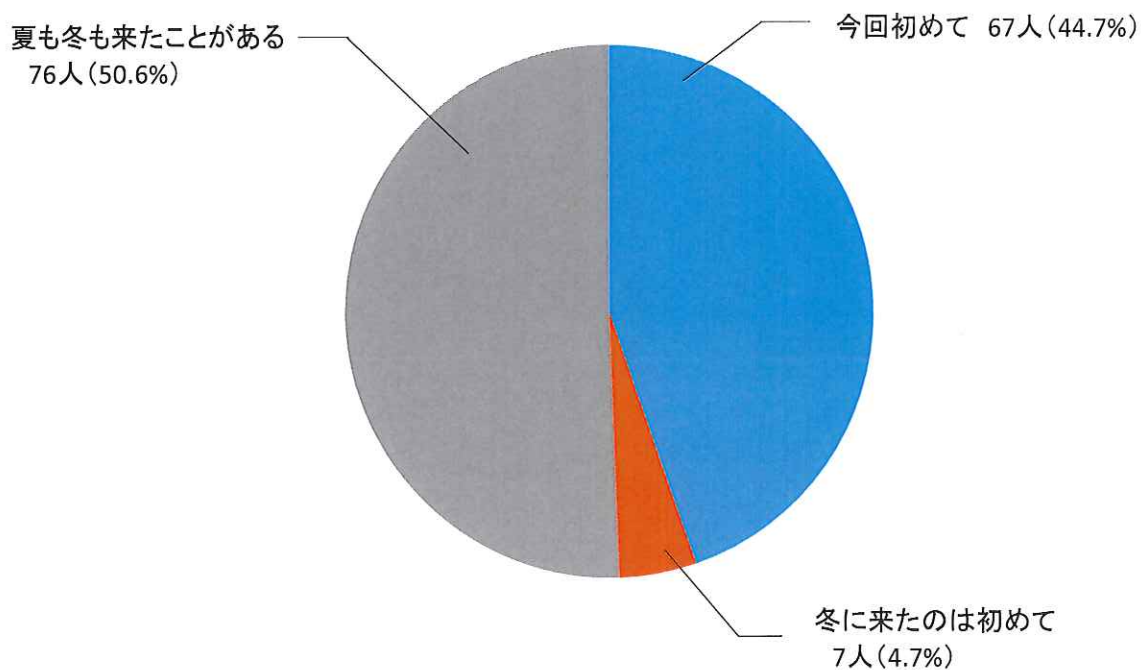
○本設問は、設問9(行きで新幹線を利用した旅行者のニセコまでの移動手段)と異なり、全旅行者の交通手段を調査している

12 ニセコに来たことはありますか？

- ① 今回初めて ② 冬に来たのは初めて
③ 夏も冬も来たことがある

【集計結果】

①	今回初めて	67
②	冬に来たのは初めて	7
③	夏も冬も来たことがある	76
		150



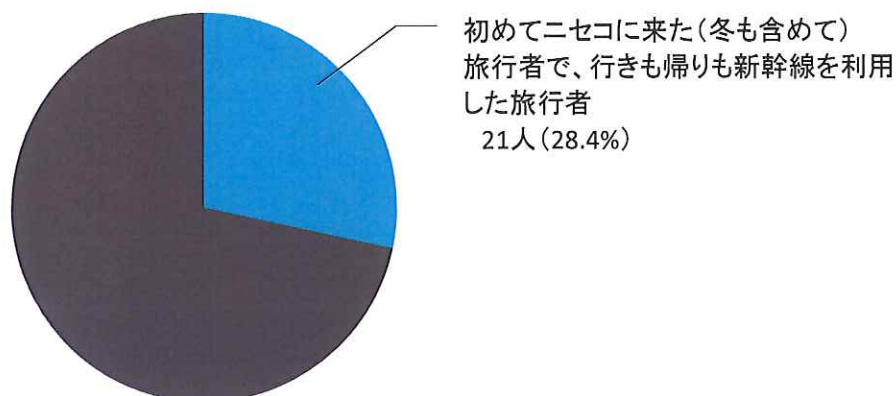
○今回の調査で、「今回初めて」「冬に来たのは初めて」と答えた旅行者が、全体の約半数の74人であった。このことで、冬のリゾート地の印象が強いニセコエリアに、まだ来たことがない国内観光客が潜在的に存在すると考えられ、今後、国内観光客へのさらなるプロモーションや旅行商品開発が必要となる

初めてニセコに来た旅行客の新幹線の利用について

●初めてニセコに来た(冬に来たのは初めても含めて)旅行者で行きも帰りも新幹線を利用した旅行者数

【集計結果】

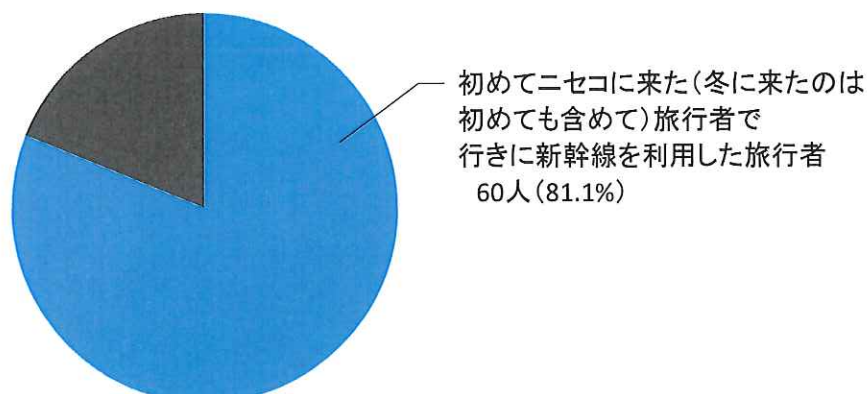
①	今回初めて	20
②	冬に来たのは初めて	1
		21



●初めてニセコにきた(冬に来たのは初めても含めて)旅行者で行きに新幹線を利用した旅行者数

【集計結果】

①	今回初めて	53
②	冬に来たのは初めて	7
		60



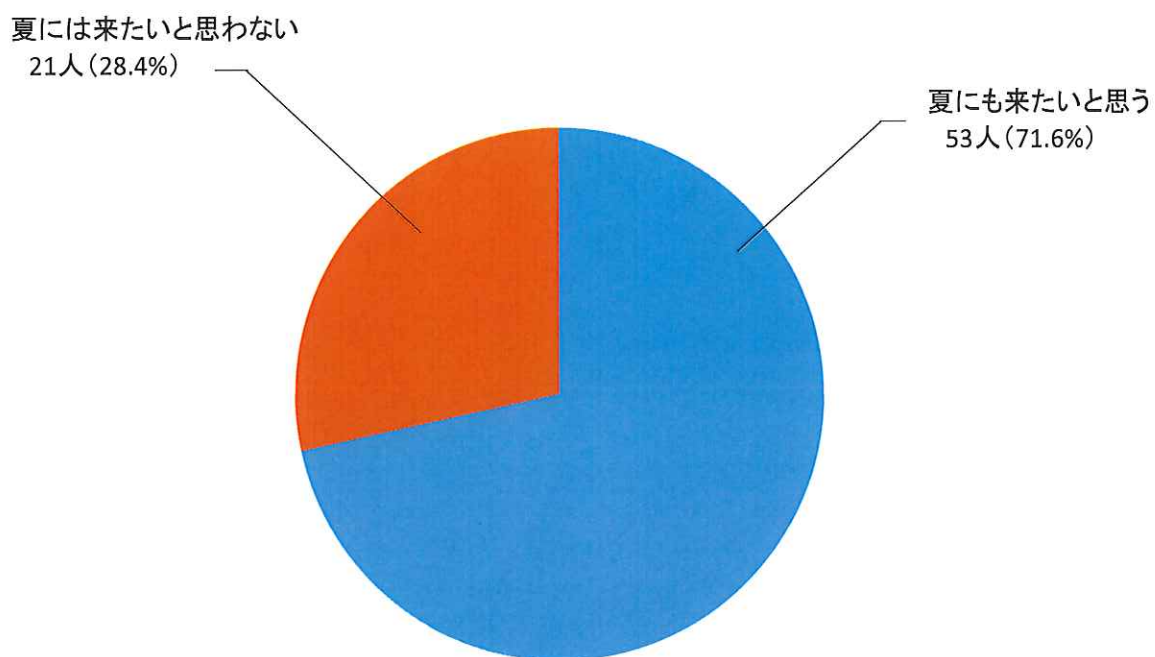
○「冬に来たのは初めて」を含めて、今回ニセコエリアに初めてきた旅行者のなかで「行きも帰りも新幹線」を利用した旅行者は28.4%で、行きに新幹線を利用した旅行者は、81.1%に及ぶ。初めてのニセコ観光に「行き」で新幹線を利用した割合を考えるとニセコ観光に新幹線が果たす役割は大きいものとする
※新幹線でニセコに行ってみよう、という機運の上昇

13 初めてニセコに来た方にお聞きします？

- ① 夏にも来たいと思う ② 夏には来たいと思わない

【集計結果】

①	夏にも来たいと思う	53
②	夏には来たいと思わない	21
		74



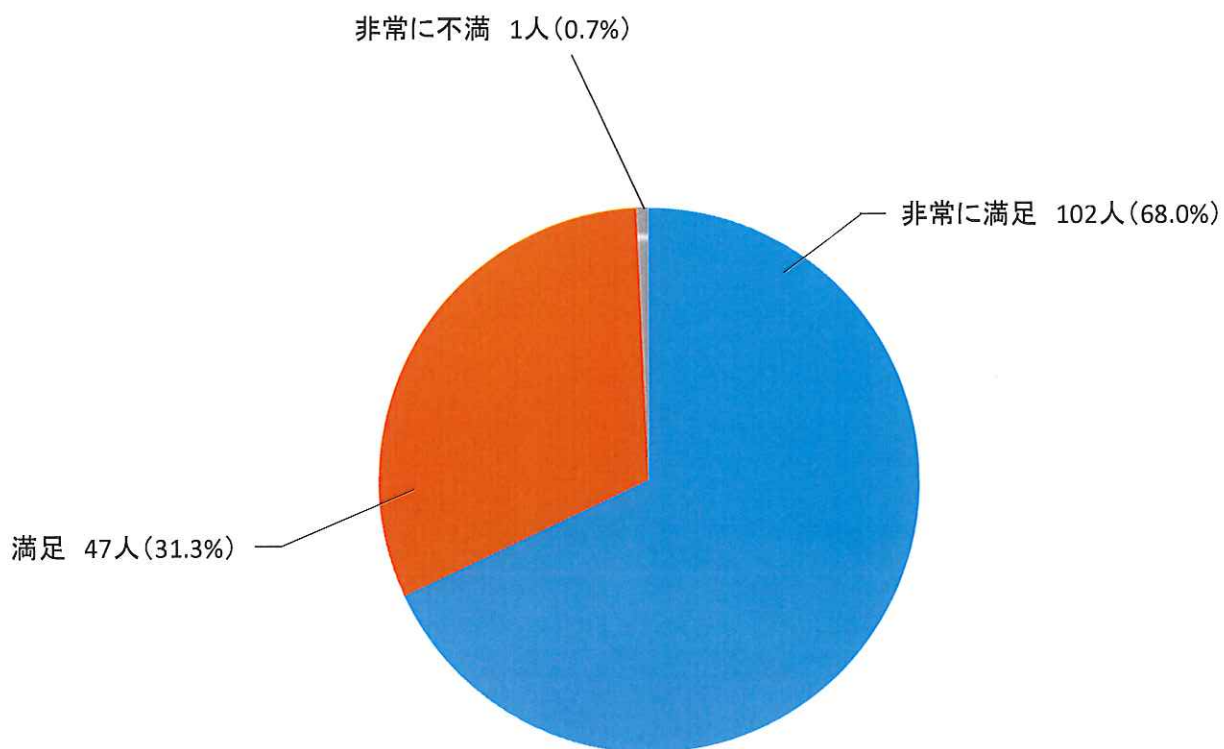
○初めてニセコに来た旅行者のなかで「夏にも来たい」と答えた旅行者が53人、全体の71.6%である一方、「夏には来たいと思わない」と回答した旅行者が21人、全体の28.4%であり、特に外国人観光客の全てで「夏には来たいと思わない」と回答している。“パウダースノー”が有名なスキーリゾートのニセコエリアにあって、夏のリゾート地としてどのように国内外の観光客を集客するかが課題となる

14 ニセコに満足していますか？

- ① 非常に満足 ② 満足(一部不満なところもあるが、満足なところのほうが多い)
 ③ 非常に不満 ④ 不満(一部満足なところもあるが、不満なところのほうが多い)

【集計結果】

①	非常に満足	102
②	満足(一部不満なところもあるが、満足なところが多い)	47
③	非常に不満	1
④	不満(一部満足なところもあるが、不満なところが多い)	0
		150



○今回のアンケート回答者のうち99%の旅行者が、ニセコエリアに対して「非常に満足」、「満足」という感想を持っている

15 あなたの性別と年齢は？

① 男 (歳) ② 女 (歳)

【集計結果】

①	男	69
	0歳 ～ 9歳	2
	10歳 ～ 19歳	3
	20歳 ～ 29歳	7
	30歳 ～ 39歳	20
	40歳 ～ 49歳	9
	50歳 ～ 59歳	10
	60歳 ～ 69歳	10
	70歳 ～	8

②	女	81
	0歳 ～ 9歳	2
	10歳 ～ 19歳	0
	20歳 ～ 29歳	25
	30歳 ～ 39歳	11
	40歳 ～ 49歳	15
	50歳 ～ 59歳	11
	60歳 ～ 69歳	10
	70歳 ～	7

16 あなたの職業は？

① 児童・学生

② 社会人

③ 専業主婦

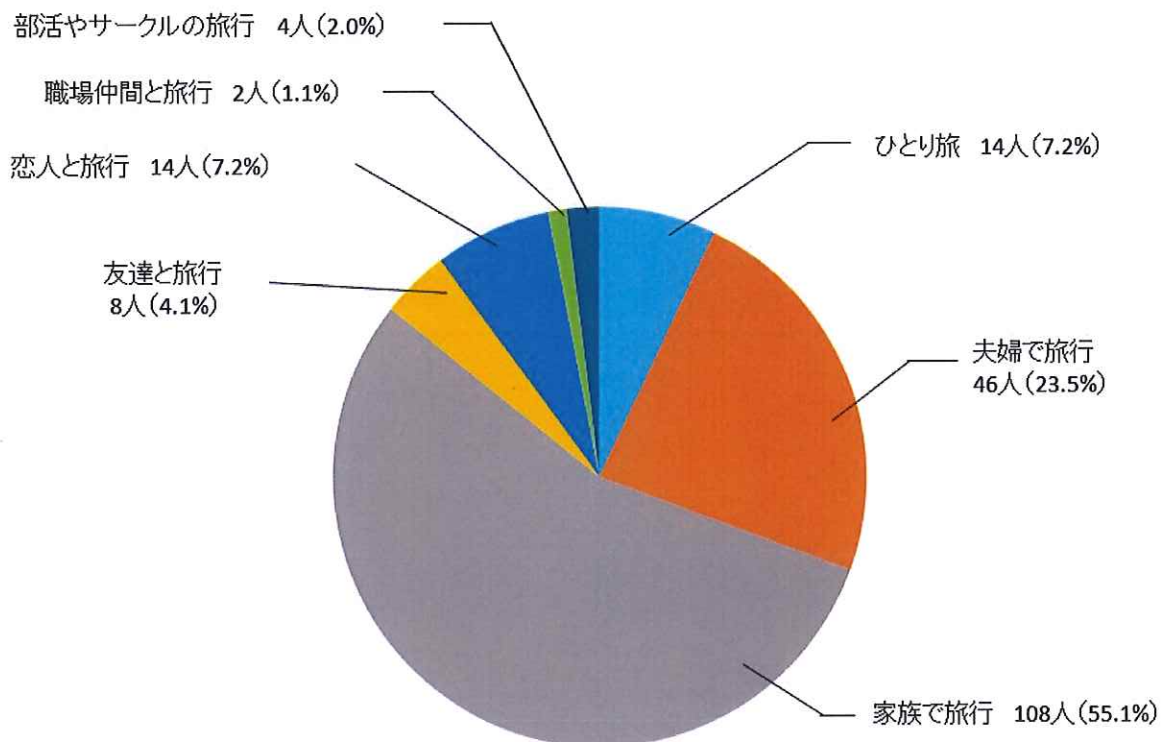
④ 無職

【集計結果】

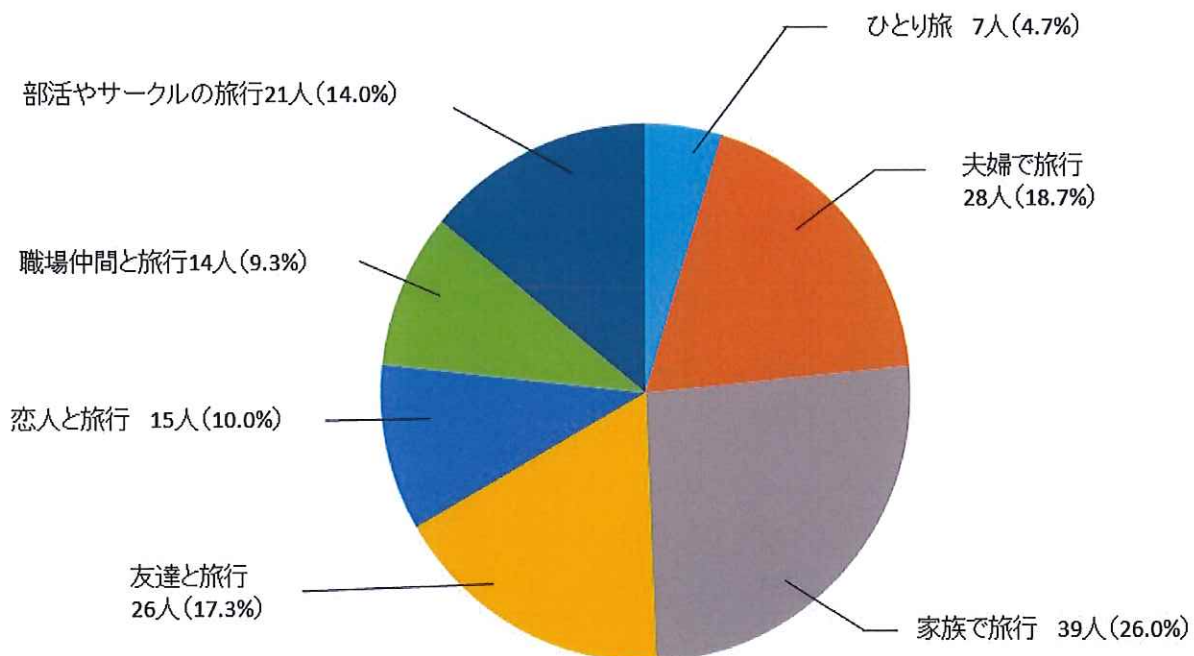
①	児童・学生	28
②	社会人	86
③	専業主婦	22
④	無職	14
		150

●旅行形態の比較

【夏季】



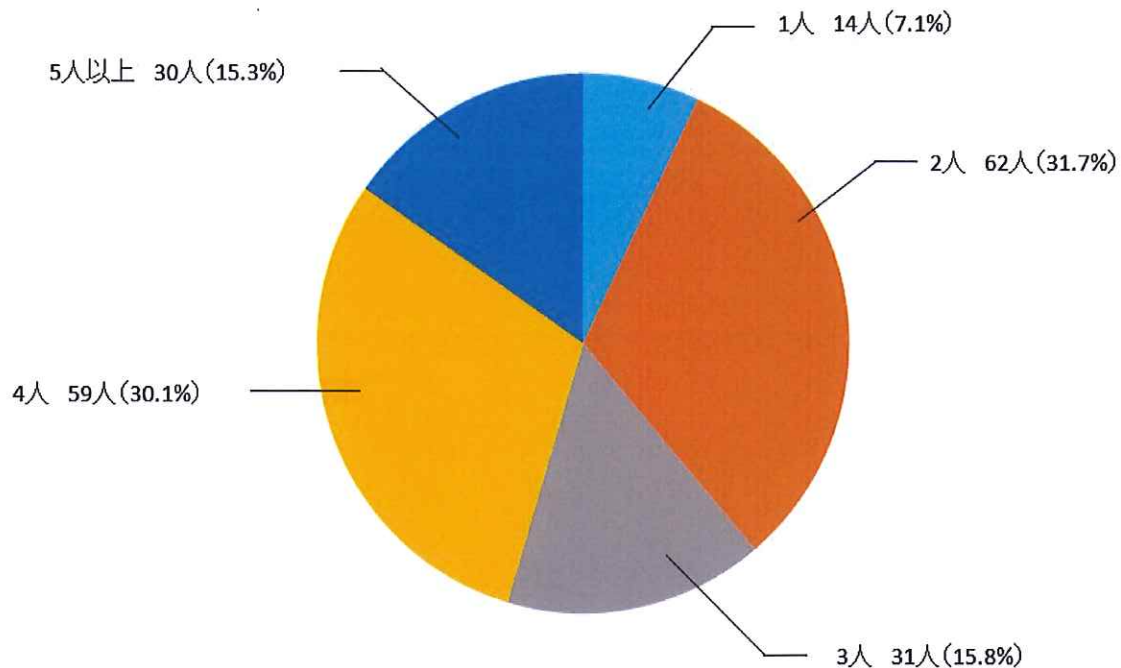
【冬季】



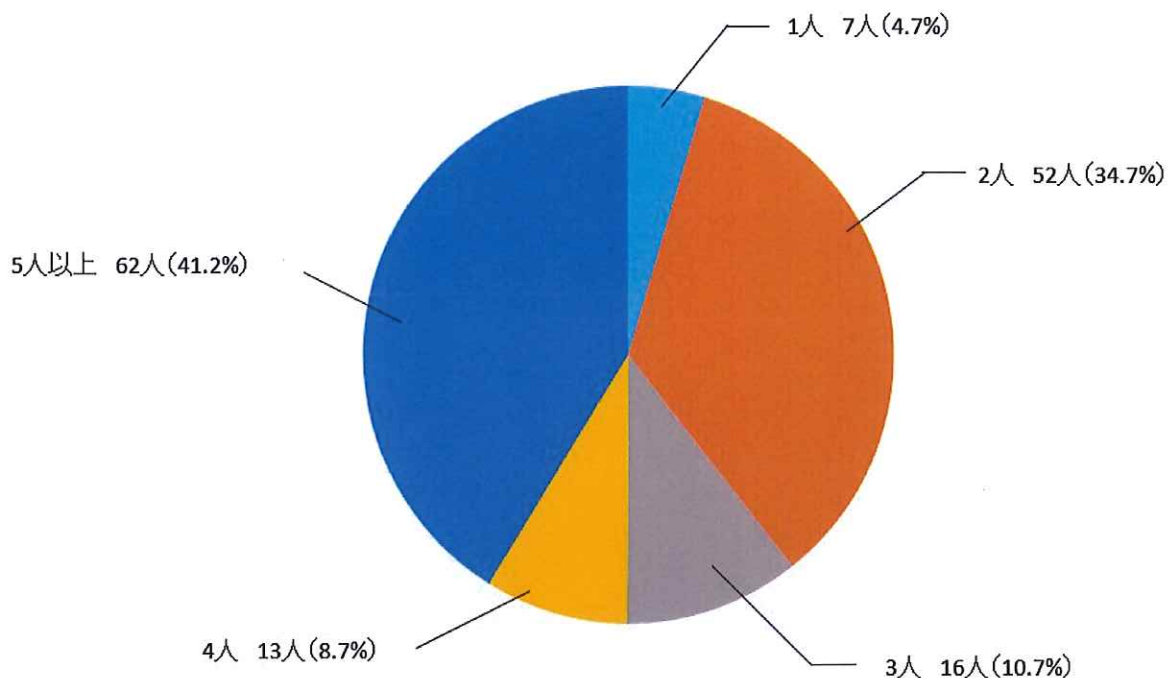
○冬季の旅行形態では「家族で旅行」の割合が減り、「友達と旅行」「職場仲間と旅行」「部活やサークルの旅行」が増えている

●旅行者人数の比較

【夏季】



【冬季】

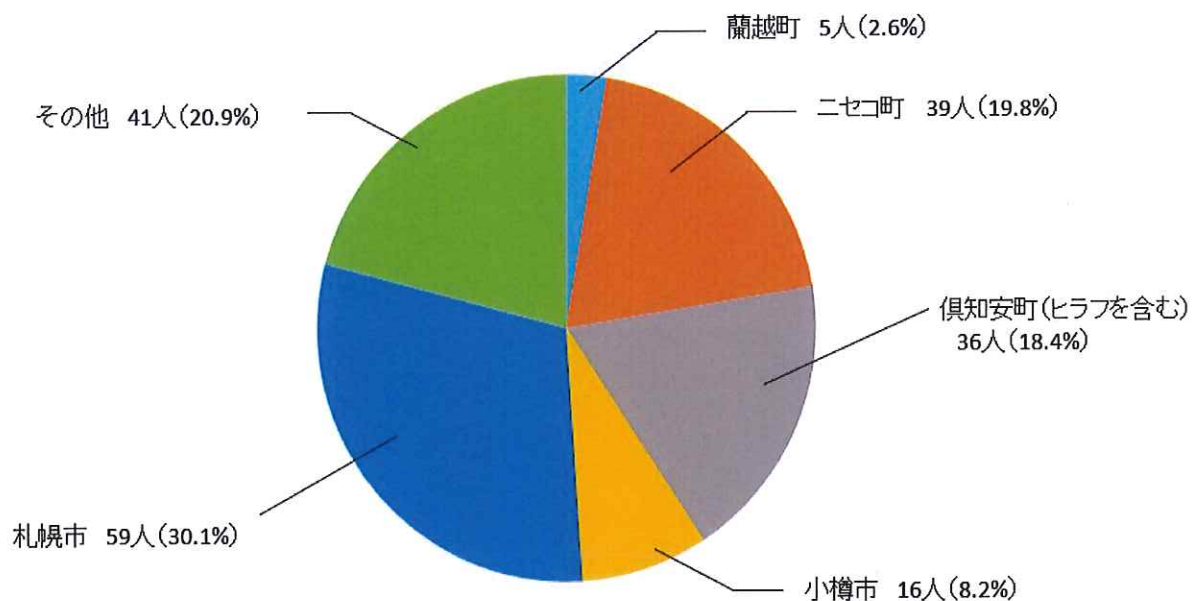


○冬季では、「友達と旅行」「職場仲間と旅行」「部活やサークルの旅行」という旅行形態が増えたことによって、5人以上の旅行者（旅行形態）が増えている。また、冬季では「家族で旅行」の割合が減ったことにより、平均的な家族構成である「4人」の旅行人数減少に影響を与えたものと推測する

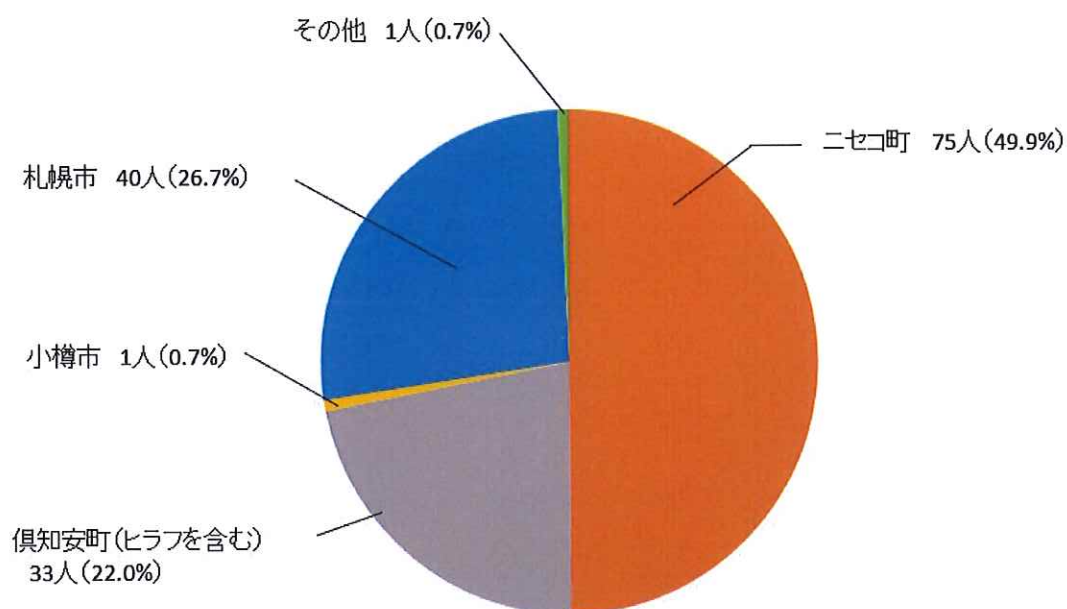
新幹線を利用してニセコエリアに来訪した観光客の二次交通に関する夏季と冬季の比較

●最終目的地の比較

【夏季】



【冬季】

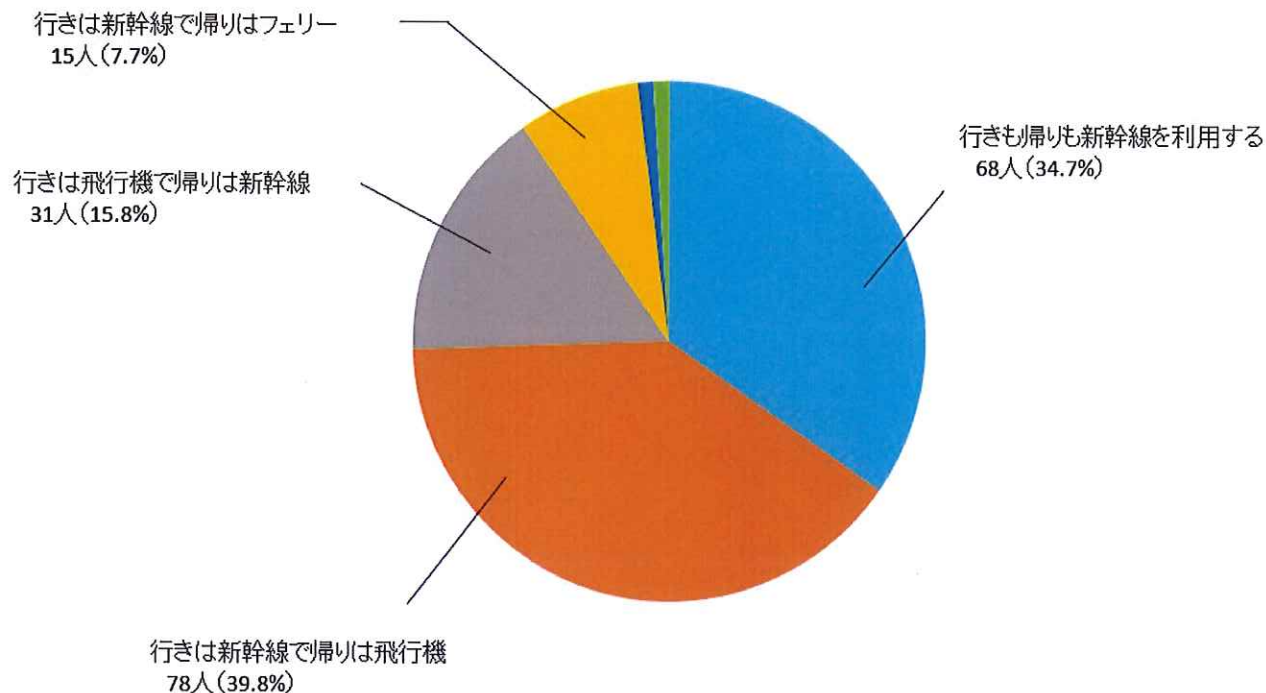


○夏季では、旅行の最終目的地として「小樽市」「札幌市」「その他」とした者が半数を超えていたのに対し、冬季ではニセコエリアを旅行の最終目的地とした者が約7割となって逆転している

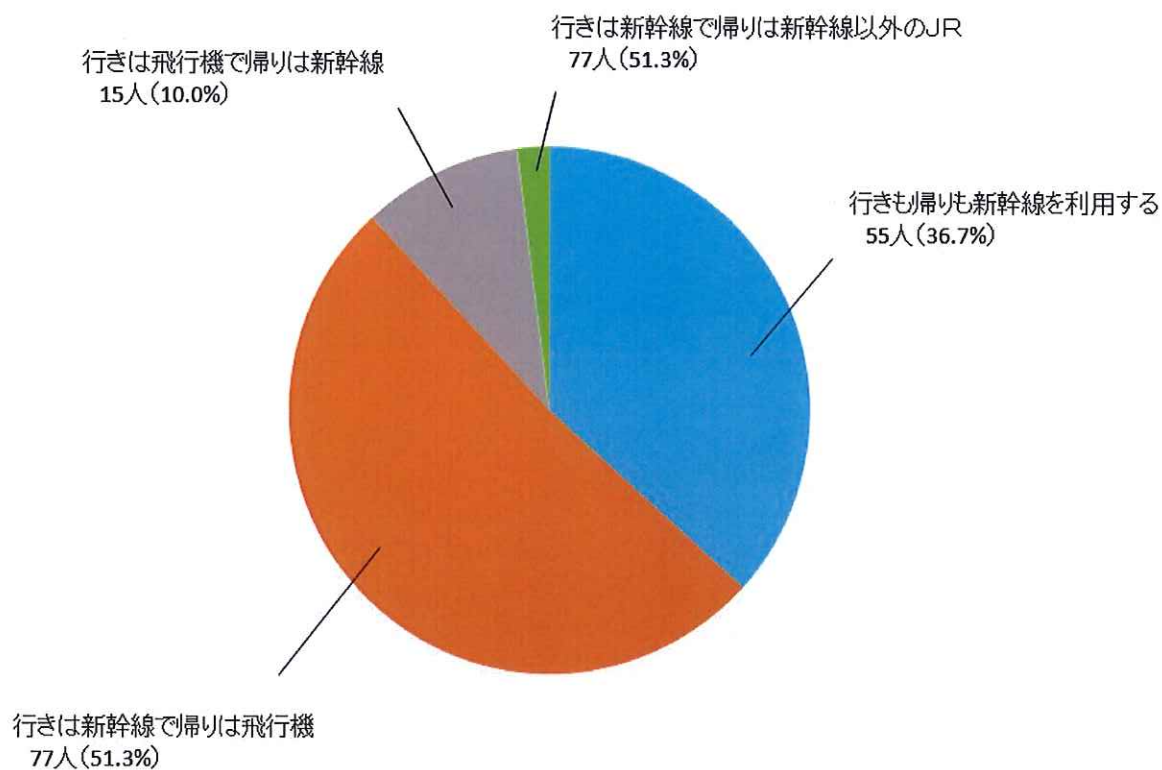
新幹線を利用してニセコエリアに来訪した観光客の二次交通に関する夏季と冬季の比較

●新幹線の利用状況

【夏季】



【冬季】

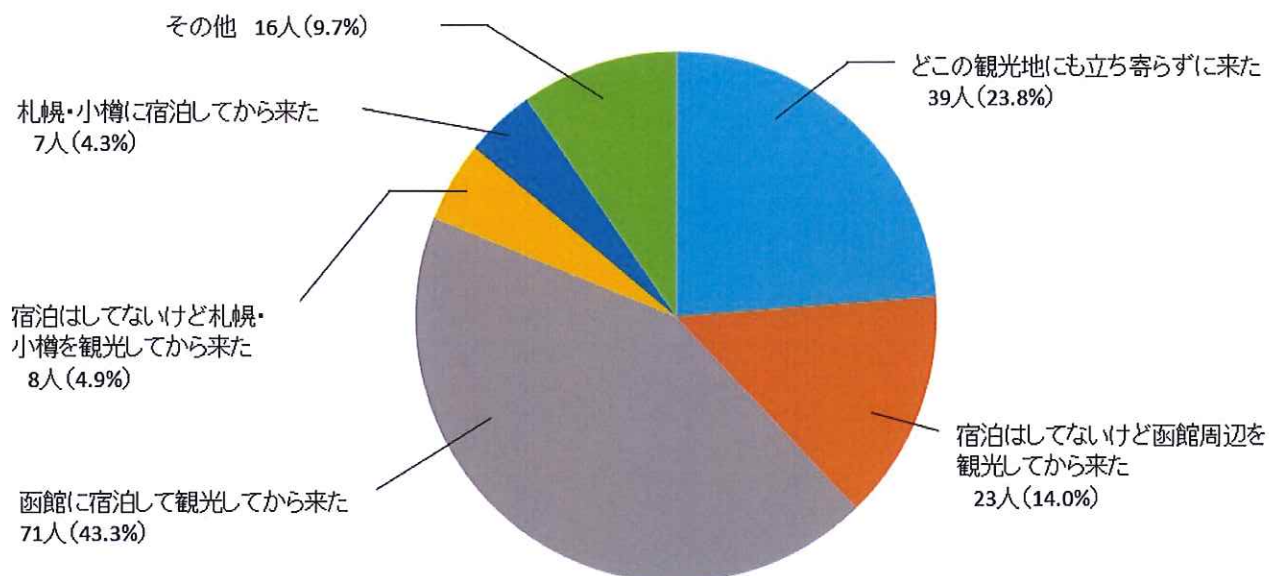


○報道等であるとおり、行きと帰りの両方で新幹線を利用する旅行者の割合よりも、行きと帰りのどちらかで新幹線を利用している旅行者が、夏季と冬季の両方で半数を超えている

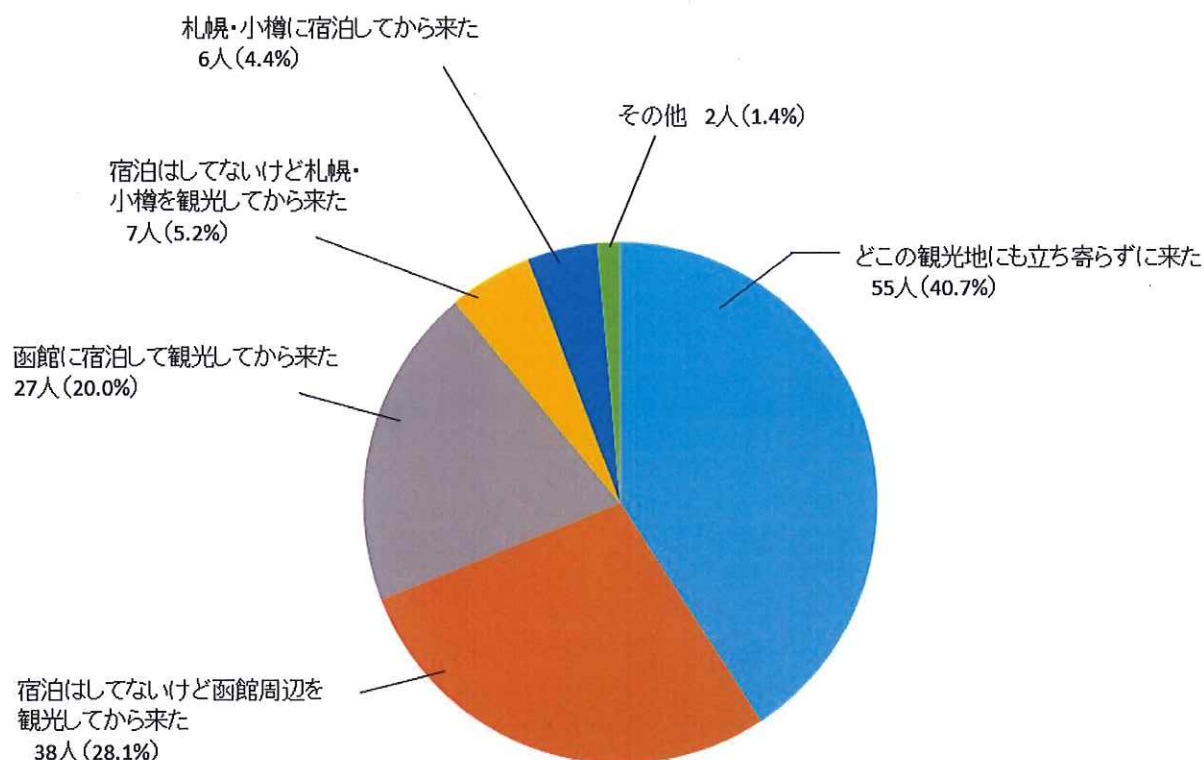
新幹線を利用してニセコエリアに訪れた観光客の二次交通に関する夏季と冬季の比較

●行きで新幹線の利用した旅行者のニセコエリアまでの移動経路

【夏季】



【冬季】

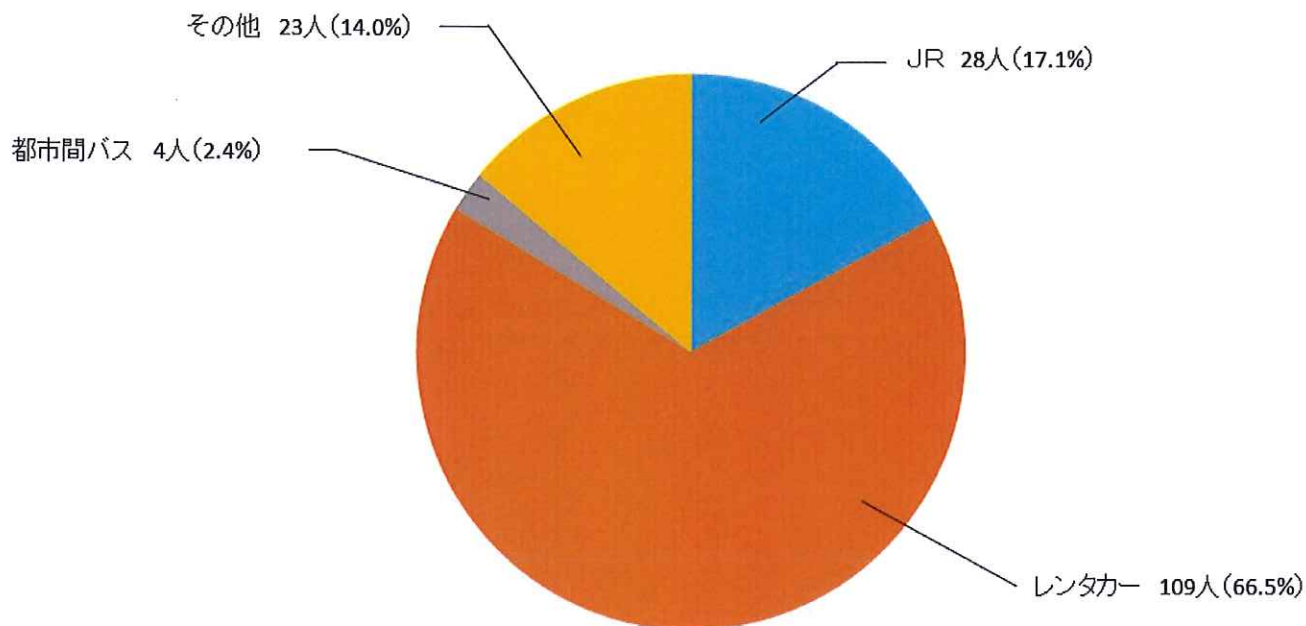


○夏季では、「宿泊はしないけど函館周辺を観光してから来た」「函館に宿泊して観光してから来た」が半数を超え、冬季においても5割に近い旅行者が函館を経由してニセコエリアに来ている。これも報道等であるとおおり、今回のアンケート結果でも函館市への新幹線開業効果が大きいことがわかる

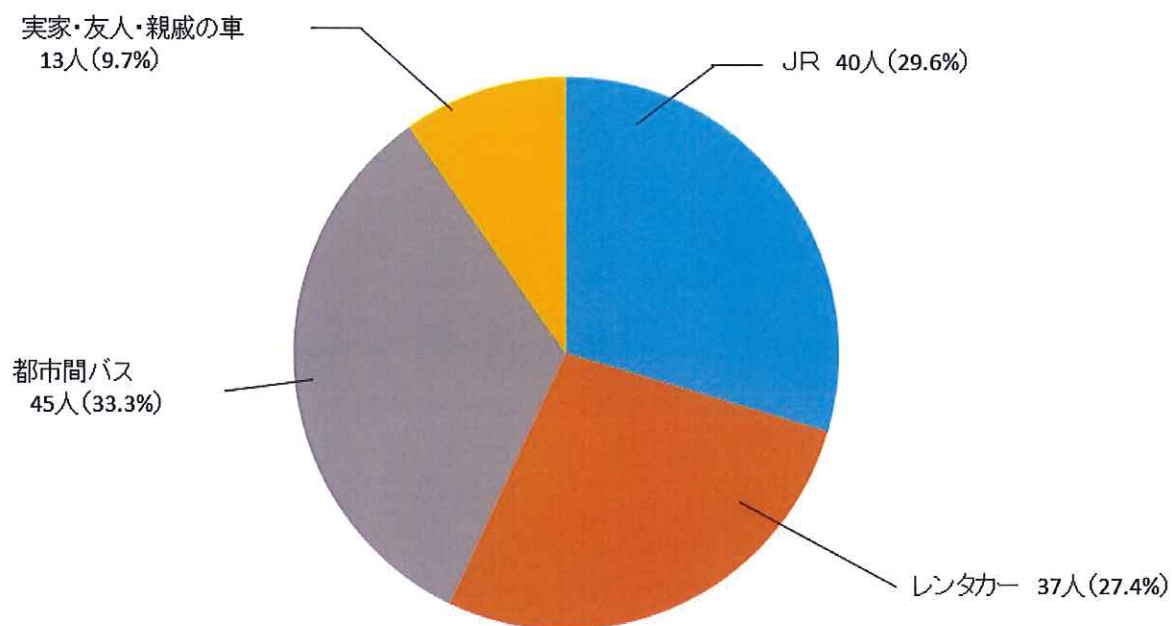
新幹線を利用してニセコエリアに訪れた観光客の二次交通に関する夏季と冬季の比較

●行きで新幹線の利用した旅行者のニセコエリアまでの移動手段(二次交通)

【夏季】



【冬季】

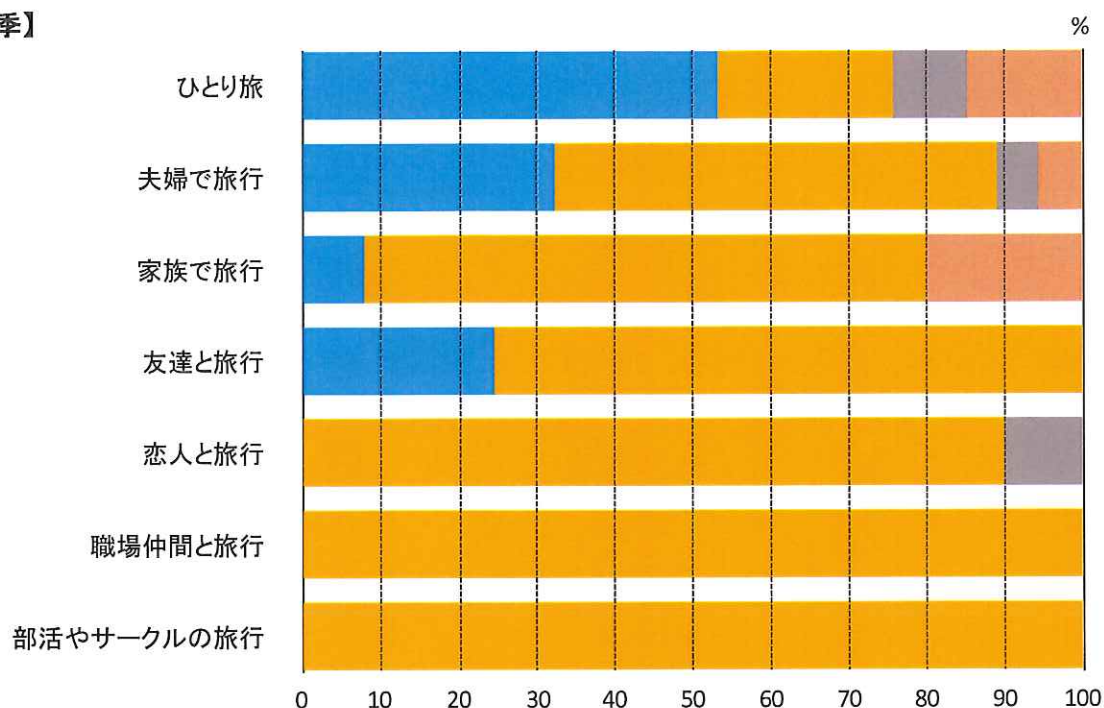


○行きで新幹線を利用した旅行者のニセコエリアまでの移動手段(二次交通)では、夏季は「レンタカー」の利用が圧倒的に多かったが、冬季では「JR」「都市間バス」の利用が「レンタカー」を大きく上回っている。当然のことながら、慣れない冬道運転を避けた移動手段となっている

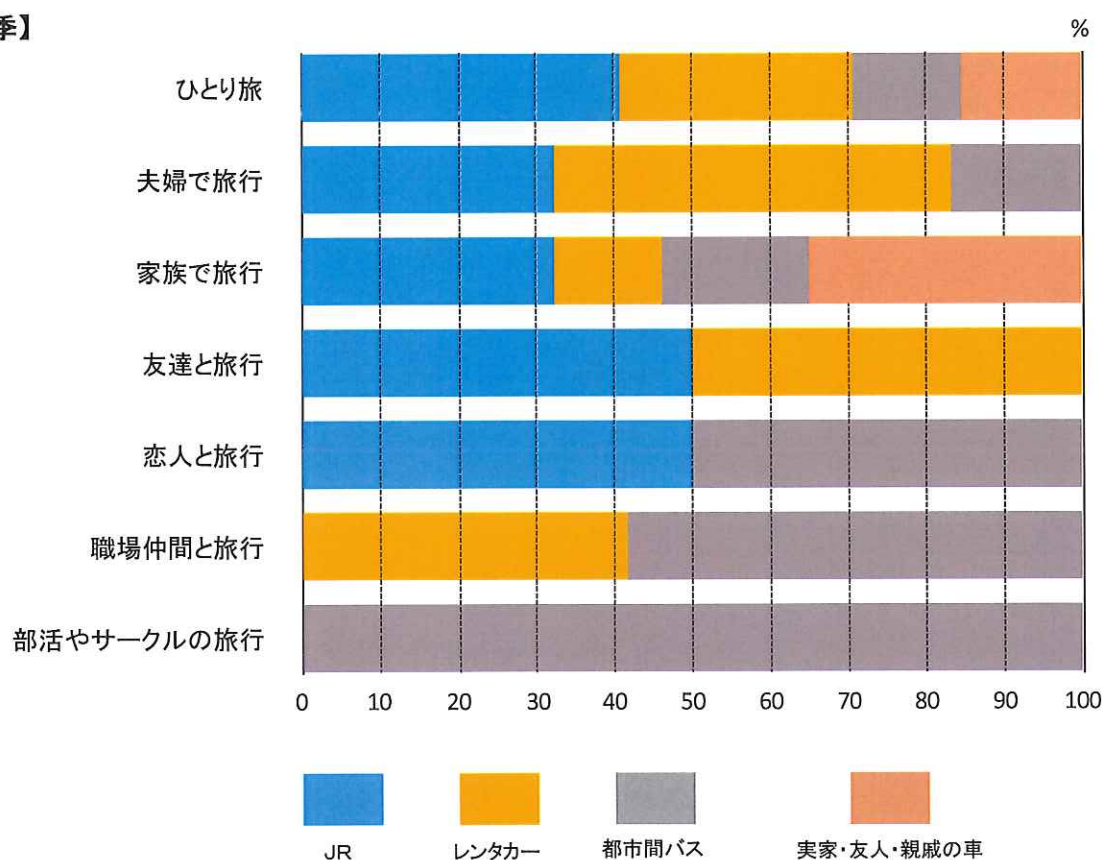
新幹線を利用してニセコエリアに来訪した観光客の二次交通に関する夏季と冬季の比較

●行きで新幹線の利用した旅行者の旅行形態別ニセコエリアまでの移動手段(二次交通)

【夏季】



【冬季】



○「恋人と旅行」「職場仲間との旅行」「部活やサークルの旅行」において、冬季の移動手段として都市間バスを利用する割合が増えている。慣れない冬道運転で交通事故を起こし、運転手が責任を負うリスクもあることから、安全な移動手段を選択する人が多くなると推測される

新幹線を利用してニセコエリアに訪れた観光客の二次交通に関する夏季と冬季の比較

●行きで新幹線の利用した旅行者の性別・年齢別ニセコエリアまでの移動手段(二次交通)

【夏季・男性】

年齢別		JR	レンタカー	都市間バス	その他	計
①	0歳 ～ 9歳	0	2	0	1	3
②	10歳 ～ 19歳	0	4	0	1	5
③	20歳 ～ 29歳	1	3	0	2	6
④	30歳 ～ 39歳	4	9	2	2	17
⑤	40歳 ～ 49歳	3	16	0	0	19
⑥	50歳 ～ 59歳	3	8	0	1	12
⑦	60歳 ～ 69歳	3	4	0	0	7
⑧	70歳 ～	3	2	0	1	6
		17	48	2	8	75

※年齢の未記入： 1

【冬季・男性】

年齢別		JR	レンタカー	都市間バス	実家等の車	計
①	0歳 ～ 9歳	0	1	1	0	2
②	10歳 ～ 19歳	3	0	0	0	3
③	20歳 ～ 29歳	1	3	1	1	6
④	30歳 ～ 39歳	7	5	3	2	17
⑤	40歳 ～ 49歳	2	4	2	1	9
⑥	50歳 ～ 59歳	2	6	0	0	8
⑦	60歳 ～ 69歳	3	2	3	2	10
⑧	70歳 ～	0	1	4	1	6
		18	22	14	7	61

○夏季、冬季ともに60歳以上から「レンタカー」の利用者よりも「JR」「都市間バス」の公共交通機関の利用者が増えている

新幹線を利用してニセコエリアに訪れた観光客の二次交通に関する夏季と冬季の比較

●行きで新幹線の利用した旅行者の性別・年齢別ニセコエリアまでの移動手段(二次交通)

【夏季・女性】

年齢別		JR	レンタカー	都市間バス	その他	計
①	0歳 ～ 9歳	0	0	0	1	1
②	10歳 ～ 19歳	0	7	0	3	10
③	20歳 ～ 29歳	3	8	1	1	13
④	30歳 ～ 39歳	1	11	1	3	16
⑤	40歳 ～ 49歳	3	20	0	4	27
⑥	50歳 ～ 59歳	2	6	0	0	8
⑦	60歳 ～ 69歳	1	2	0	2	5
⑧	70歳 ～	1	1	0	1	3
		11	55	2	15	83

※年齢の未記入： 5

【冬季・女性】

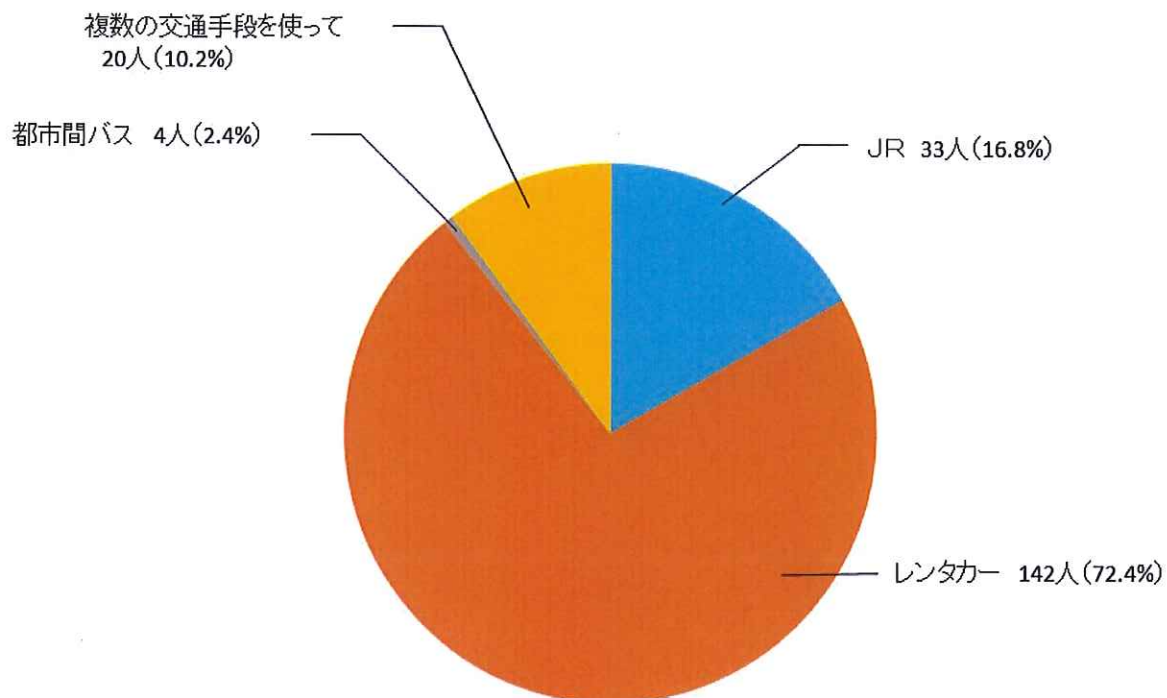
年齢別		JR	レンタカー	都市間バス	実家等の車	計
①	0歳 ～ 9歳	2	0	0	0	2
②	10歳 ～ 19歳	0	0	0	0	0
③	20歳 ～ 29歳	9	6	7	0	22
④	30歳 ～ 39歳	2	2	3	2	9
⑤	40歳 ～ 49歳	5	1	7	1	14
⑥	50歳 ～ 59歳	2	4	4	0	10
⑦	60歳 ～ 69歳	2	2	4	2	10
⑧	70歳 ～	0	0	6	1	7
		22	15	31	6	74

○女性については、自らレンタカーを運転するよりも同乗するケースが多いと考えられるが、その上でも、冬季では「JR」「都市間バス」の利用が多い。冬季のアンケートに回答した旅行者には、女性の職場グループがいたため、年齢に関係なく「都市間バス」の利用が増えている

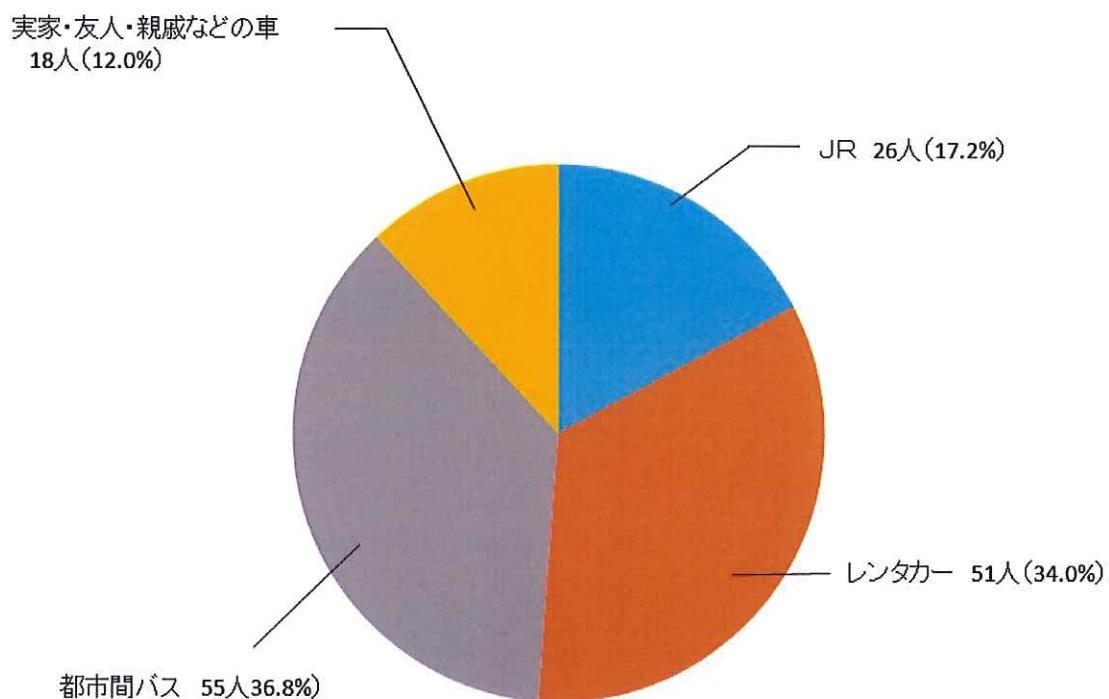
新幹線を利用してニセコエリアに来訪した観光客の二次交通に関する夏季と冬季の比較

●ニセコエリアから北海道を離れる空港、駅、フェリー乗り場までの移動手段(二次交通)

【夏季】



【冬季】



○夏季、冬季ともに「行きで新幹線を利用した旅行者のニセコエリアまでの移動手段」と同様の結果になっているが、行きは新幹線を利用し帰りは飛行機を利用する場合、冬季においてはニセコエリアの各スキー場から新千歳空港までの都市間バスが運行されているため、都市間バス利用者が増える結果となっている

今回の利用調査の目的は、ニセコエリアにおける新幹線の開業効果を調査するとともに、新幹線の利用者がニセコエリアまでの移動手段として、①JR ②レンタカー ③都市間バスのどれを選択するか、また、夏季と冬季の2回調査を実施することで、季節によって移動手段(二次交通)がどのように変化するか、さらに、年齢、性別、旅行者の形態(夫婦、恋人、友人など)で、移動手段(二次交通)にどのような傾向にあるのかを調査し、二次交通が脆弱な北海道にあって、ニセコエリア誘客に向けた二次交通整備の課題の明確化や検討材料とするものである。

これらのことから、上記の調査目的に沿って下記のとおり調査結果をまとめることとする。

1 ニセコエリアにおける新幹線の開業効果について

今回の夏季、冬季において調査した346人のうち、ニセコエリアに「初めて来た」「夏に来たのは初めて」「冬に来たのは初めて」と答えた旅行者は、177人で51.3%となった。これらのことから、新幹線開通によって、「ニセコに行ってみよう！」という契機に一定程度繋がっているものと考えられる。

しかしながら、北海道新幹線は現在のところ新函館北斗駅までしか開通しておらず、ニセコエリアについては、函館周辺のような目に見える開業効果が表われてなく、今後、札幌延伸までの期間で、北海道新幹線効果をどのようにニセコエリアに波及させるかが課題となる。

2 移動手段(二次交通)の選択について

①季節による移動手段(二次交通)の変化

行きで新幹線を利用した旅行者で、新函館北斗駅からニセコエリアまでの移動手段は、夏季は圧倒的にレンタカーの利用が高く、164人のうち109人、66.5%がレンタカーを移動手段としている。そのため、夏季は道内の周遊型観光となり、最終目的をニセコエリアと回答した旅行者は、196人のうち80人、40.8%に留まり、それ以外は道内の各観光地を最終目的地と回答する旅行者が多くいた。

冬季は、行きで新幹線を利用した135人の旅行者のうち、85人、56.7%がJRと都市間バスを移動手段に選んでおり、慣れない冬道運転での事故等を避け、安全に目的地へ向かうことを選択している。このことから、スキーや温泉というニセコエリアへの観光目的が明確になっていることと合わせて、冬季は道内の周遊型観光とはならず、旅行の最終目的地をニセコエリアに設定した旅行者が全体の71.9%を占めている。

また、ニセコエリアは新函館北斗駅、新千歳空港から距離があり、公共交通の利便性が悪いことから、実家・友人・親戚などの車で送迎される旅行者が多くあった。これについても、ニセコエリアの今後の二次交通を検討するうえで、ひとつの材料となるものとする。

②性別・年齢別の移動手段(二次交通)について

夏季、冬季ともに男性は、60歳以上になるとレンタカーの利用者が減り、JRや都市間バスの公共交通の利用が増えている。女性については、自らレンタカーを運転するというより、夫や家族が運転するレンタカーに同乗するケースが多いと思われ、年齢別には一概に結論は出せないところがあるが、冬季においては、JRや都市間バスを多く選択している。

少子高齢化が進み、経済的にも余裕ができ、山登りやスキー、旅行などを趣味に持つシルバー層が増えると、ニセコエリアは絶好の観光目的地となり得るが、高齢ドライバーの運転事故が取りざたされ、

道路交通法の改正などにより、今後は、高齢ドライバーが減少することが予測される。したがって、北海道新幹線の札幌開業までの間、シルバー層が安心してニセコエリアに移動できる手段の構築が必要となる。

③旅行形態別の移動手段(二次交通)について

夏季は、ひとり旅以外の全ての旅行形態でレンタカーの利用が多くなっている。冬季においては、夫婦で旅行以外の全てでJRと都市間バスの公共交通の利用が多くなっている。※

冬季においては、総じて、慣れない冬道運転での交通事故を避けるための選択と思われる。なかでも若年層と考えられる恋人同士の旅行でも、公共交通を選択しており、楽しい旅行が交通事故などで台無しにしたくないという考えや事故への責任を考慮しているものと考ええる。

いずれにしても、夏季と冬季では移動手段に大きな違いがみられたなかで、スキーリゾート地である以上、安全で楽な移動手段(二次交通)の課題は、北海道新幹線の倶知安駅が開業するまでの間、ニセコエリアへの誘客や観光客の利便性の向上のうえで解決を図っていかねばならないものと考ええる。

※冬季において、旅行形態「友達と旅行」では、JR利用とレンタカー利用は同じ割合